

第1会場

京都市勧業館みやこめッセ 3F 第3展示場 A

8:50~9:00 開会式

9:00~10:30 シンポジウム 1

座長：原田 賢治（東京農工大学 保健管理センター）
浦松 雅史（東京医科大学 医療の質・安全管理学分野）

【広報委員会企画】

学術と広報のあいだで：学会の“知”を“誰”に“どう”届けるか

- 1 誰に、どう届けるのか？ - 広報から考える医療安全のかたち
○辰巳 陽一
近畿大学病院安全管理センター、医療安全対策部、近畿大学血液・膠原病内科
- 2 医療安全の“知”を社会に届ける：対話と共創としての広報の可能性
○荒井 有美
北里大学病院 医療安全推進室
- 3 伝えること、つくること ～医療安全というコンテキストを編む責任
○奥村 将年
藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部
- 4 患者・市民の経験が持つ力を理解し推進していくために
○轟 浩美
認定NPO法人希望の会

10:40~12:10 シンポジウム 2

座長：北村 温美（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部）

【患者・市民参画推進委員会企画】

医療者が支えるヘルスリテラシーの向上 - 正しい情報への伴走者としての役割

- 1 医療者が医学的に正しい情報を見極めるために
○渡邊 清高^{1,2,3}
¹帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科、²メディアドクター研究会、³一般社団法人在宅がん療養財団
- 2 がん患者の医療情報収集心理を理解して伝えるために：患者と薬剤師の視点から
○野村 洋介
和歌山県立医科大学大学院 医学薬学総合研究科 社会・薬局薬学研究室
- 3 患者の情報収集行動と治療選択：医療者はどのように関わるべきか
○大野 智
島根大学医学部附属病院臨床研究センター

13:40~15:10 パネルディスカッション 1

座長：深見 達弥（島根大学医学部附属病院 医療安全管理部）
小池 大助（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）もう一度、あるべき姿を意識して、患者中心の視点から医療安全を考えなおそう
～インフォームドコンセントの視点から～

- 1 インフォームド・コンセント（IC）に対する医師・患者の認識
○田畑 雅央
東北大学病院 医療安全推進室
- 2 患者遺族と医療対話推進者の立場からインフォームド・コンセントに求めるもの
○豊田 郁子
患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋

- 3 インフォームド・コンセントの現状と課題 - 患者側代理人の立場から
○柄沢 好宣
堀・柄沢法律事務所
- 4 看護師の立場から、インフォームドコンセントの実践における課題
○出羽 あゆみ
島根大学医学部附属病院

15:20~15:50 大会長講演 座長：水本 一弘（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科／副大会長）

Duty of Candor：公正な文化の醸成と共に

○松村 由美
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

16:00~16:40 国外招請講演 座長：松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

**次世代の医療を担うチェンジメーカー育成を目指して
～ブータン王国における医療安全・医療の質改善教育の現場から：実践で得た学び～**

○西澤 和子
Faculty of Postgraduate Medicine, Khesar Gyalpo University of Medical Sciences of Bhutan

16:50~17:30 国内招請講演 座長：松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

技術と情熱の融合：尖った展示で拓く世界唯一のミュージアムの未来

○小林 昌樹
株式会社ウェーブ滑川(ほたるいかミュージアム)
○石村 卓也
株式会社ホロラボ

第2会場

京都市勧業館みやこめっせ 3F 第3展示場 B

9:00~10:30 パネルディスカッション 2

座長：杉山 良子（パラマウントベッド株式会社）
高田 誠（株式会社オーセンティックス）

転倒転落に関する Current Best Approach

- 1 転倒転落における物的対策のCBA
○東 泰弘
公立藤田総合病院
- 2 転倒転落対策における多職種連携・人材育成
○篠田 奈緒子
国家公務員共済組合連合会虎の門病院 医療安全対策室
- 3 エンゲージメントを高める取り組みとは何か
○大庭 明子
自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部 医療安全管理室
- 4 身体拘束と転倒転落対策
○赤城 香
公立西知多総合病院 医療品質管理センター 医療安全管理室
- 5 CBAの「ナレッジ化」と、実践方法の提言に向けて
○奥 俊介
パラマウントヘルスケア総合研究所
- 6 転倒転落対策に組織一丸で取り組むためのビジョンと目標設定
○奥田 希世子
聖隷福祉事業団 浜松市リハビリテーション病院

10:40~12:10 パネルディスカッション 3

座長：長谷川 友紀（公益財団法人日本医療機能評価機構／東邦大学）
横山 玲（公益財団法人日本医療機能評価機構 評価事業推進部）

医療安全文化調査 調査結果のその先 ～取り組みの共有と展望～

- 1 ヒヤリ Good 報告の構築
○山本 直美
一般財団法人 潤和リハビリテーション振興財団 介護老人保健施設 ひむか苑 看護科
- 2 九州がんセンターにおける医療安全文化調査の活用と Safety-II
○藤 賢史、藤田 直子、高野 豪、勝田 朋子、益田 宗幸
国立病院機構九州がんセンター 医療安全管理部

13:40~15:10 シンポジウム 3

座長：矢野 真（日本赤十字社総合福祉センター）
谷口 英樹（日本赤十字社長崎原爆病院）

ペイシェントハラスメントとネガティブケイパビリティ

- 1 ネガティブ・ケイパビリティの考え方
○矢野 真
日本赤十字社総合福祉センター
- 2 当院におけるペイシェントハラスメント対策について
○谷口 英樹
日本赤十字社長崎原爆病院

- 3 **ペイシェントハラスメントに対する大学病院の対応**
○栗原 慎太郎
長崎大学病院 安全管理部
- 4 **ペイハラなどの対応困難事例に対する当院の取り組み
ー医療対話推進者の立場からー**
○奥津 啓子
武蔵野赤十字病院
- 5 **医療現場における“ネガティブ・ケイパビリティという考え方”（その必要性）
（入院居坐り型〔退院拒否型〕）のペイシェントハラスメントで考える）**
○福崎 博孝
弁護士法人ふくざき法律事務所

16:00～17:30 パネルディスカッション 4

座長：舟越 亮寛（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部）
菊地 龍明（横浜市立大学附属病院 医療安全管理部）

【医薬品・医療機器・放射線安全委員会 医薬品部会企画】

電子添文を活用していますか？ 医薬品添付文書の電子化における現状と課題

- 1 **より効果的な情報発信に向けて**
○太田 美紀
独立行政法人医薬品医療機器総合機構
- 2 **電子添文にかかわる現状と課題 ～インシデント報告等から～**
○梅村 朋
名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部
- 3 **医薬品添付文書の電子化における現状と課題 ～医師の立場から～**
○兼兒 敏浩
三重大学医学部附属病院 医療安全管理部
- 4 **薬剤師における電子添文の活用状況と今後の展望
～多職種との連携強化に向けて～**
○菊田 裕規
大阪医科薬科大学病院 薬剤部／医療総合管理部 医療安全推進室
- 5 **看護師による添付文書活用の現状調査と今後の課題
～看護師は添付文書を有効活用できているか～**
○須田 喜代美
一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院 医療の質管理部 医療安全管理室

第3会場

京都市勧業館みやこめッセ 1F 第2展示場 A

9:00~10:30 シンポジウム 4

座長：大津山 裕美子（医療法人社団洛和会 洛和会音羽病院 薬剤部）
中林 保（おれんじ薬局）

京都府薬剤師会で行く医療安全

- 1 便利ツール、お薬手帳の位置づけとかかわる問題点
○芝原 由典
しばはら薬局
- 2 散剤鑑査の落とし穴！手順書の再確認
○日比 麻有
シミズ薬品株式会社 薬局ダックス西京上野橋店
- 3 週末の急配状況、必要な医薬品はいつ届く？
○芦田 昌浩
黄治湯薬品
- 4 医薬品の不安定供給はリスクにも直結
○山本 崇
大阪赤十字病院 薬剤部
- 5 会員向け医療安全動画作成と京都薬報 Patient Safety Pitfalls 紹介
○小野 勝
京都市立病院 薬剤部

10:40~12:10 パネルディスカッション 5

座長：山本 崇（大阪赤十字病院 薬剤部）
小太刀 菜月（harmo株式会社 企画営業部 新規企画チーム）

ケアの移行期でのサステナブルな薬剤確認

- 1 WHOの挑戦を現場で実装する：麻酔科医が語る薬剤安全インフラの再構築
○加藤 果林
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部
- 2 退院時の薬剤情報不足を克服する薬局薬剤師の工夫と多職種連携におけるアナログ・デジタルツールの活用事例
○日野 優生
りおん薬局新座志木店
- 3 医療情報連携強化に向けたPHRの活用と今後の課題～医療現場の声を反映した電子版お薬手帳の展望～
○小太刀 菜月
harmo株式会社 企画営業部 新規企画チーム
- 4 入退院時における薬剤確認業務DX化の試み
○山本 崇
大阪赤十字病院 薬剤部

12:30~13:20 教育セミナー 1

座長：長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

医療機器の再使用：あり？なし？

- 中島 芳樹
浜松医科大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科

共催：ソルベントム合同会社

13:40～15:10 パネルディスカッション 6

座長：西原 雅美（大阪医科薬科大学病院 薬剤部／医療総管理部）
河瀬 留美（西淀病院 医療安全管理室）

薬剤安全のバトンパス：対物・対人業務をつなぐキーパーソンとしての役割と仕組みづくり

1 安全な薬物治療／ケアの実施場面 ～薬剤から看護へのバトンパス～

○但見 雅代
大阪医科薬科大学訪問看護ステーション

**2 ケア移行で薬が“途切れない”ために
～老健薬剤師が果たす情報共有と支援の役割～**

○大荒 政志
医療法人育和会 育和会記念病院 薬剤部

3 医療（介護）安全における薬剤師の役割 ～つなげる安全な薬物治療～

○宇都宮 励子
一般社団法人 大阪ファルマプラン

薬剤安全のバトンパス（供給～処方／調剤～病棟搬送～実施まで）

ファシリテーター：西原 雅美（大阪医科薬科大学病院 薬剤部／医療総管理部）

16:00～17:30 パネルディスカッション 7

座長：種田 憲一郎（国立保健医療科学院）
荒神 裕之（山梨大学大学院 総合研究部医学域 医療安全学講座）

【医療安全支援センター総合支援事業推進委員会企画】

地域における効果的な医療安全推進のあり方

1 連携は患者安全を高めるのか？：全国医療施設横断調査から見たこと

○安田 あゆ子¹、種田 憲一郎²、中島 勲³、水野 篤⁴
¹国立病院機構名古屋医療センター、²国立保健医療科学院、³国家公務員共済組合連合会虎の門病院、
⁴学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院

2 地域の医療安全を推進する連携の実際：南信州医療安全ネットワークの取り組み

○菅野 隆彦
下伊那厚生病院

3 長崎県及び長崎県医療安全相談センターの取り組み

○馬郡 正昌、猪股 慎太郎
長崎県福祉保健部医療政策課

**4 地域の医療機関との信頼関係の上に成り立つ医療安全施策の進め方について
～船橋市保健所の医療安全支援センターでの試み～**

○筒井 勝
船橋市保健所

第4会場

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第2展示場 D

9:00～10:30 パネルディスカッション 8

座長：長谷川 剛（泉大津急性期メディカルセンター）

医療安全管理者のための有害事象対応：専門家の視点を交えた実践的アプローチ

1 事例を読み解く ～医療メディエーションの観点から

○荒神 裕之

山梨大学大学院 総合研究部医学域 医療安全学講座

2 事例を読み解く ～法的観点から

○荒井 俊行

荒井東京法律事務所

3 事例を読み解く ～臨床倫理の観点から

○瀧本 禎之

神戸大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部

10:40～12:10 パネルディスカッション 9

座長：木村 壯介（日本医療安全調査機構）

宮田 哲郎（日本医療安全調査機構）

医療事故調査における病理解剖の実施拡大に向けた検討

1 医療事故調査制度における病理解剖の現状

○木村 壯介

日本医療安全調査機構

2 病理解剖に対して思うこと：一臨床医の立場から

○小田切 範晃

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 外科センター 医療安全推進室

3 病理解剖に関わる諸問題の解決に向けて - 病理医の立場から

○羽賀 博典

京都大学医学部附属病院 病理診断科

4 患者遺族の立場から、病理解剖について思うこと

○清水 紀子

患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋

5 遺族へどのように病理解剖を勧めるか

○南須原 康行

北海道大学病院 医療安全管理部

6 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業において解剖調整を行っていた立場から、解剖時に必要となる調整項目や具体的な方法

○宮崎 国子

日本医療安全調査機構

12:30～13:20 教育セミナー 2

座長：中村 京太（横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部）

サステイナブルなRRSを目指して ～市中病院でやってみた～

1 RRSのタネを蒔きました

○山田 かの子

近江八幡市立総合医療センター 看護部

2 臨床工学技士がRRSで活躍できる場を目指して

○鈴木 雄也
近江八幡市立総合医療センター 臨床工学科

共催：フクダコーリン株式会社

13:40～15:10 パネルディスカッション 10

座長：荒神 裕之（山梨大学大学院 総合研究部医学域 医療安全学講座）
菊地 龍明（横浜市立大学附属病院 医療安全管理部）

【教育委員会企画・医療安全管理者継続研修】 持続可能なチームステップスのエッセンス

1 チームステップスの開催支援： 医療の質・安全学会教育委員会の2年間の取り組み

○菊地 龍明
横浜市立大学附属病院 医療安全管理部

2 継続研修をどう活用したか ～チームSTEPPS実践が拓く中規模病院の組織変容～

○鈴木 康子
一般社団法人 慈山会医学研究所付属 坪井病院

3 懐疑から共感へ -在宅現場における TeamSTEPPS導入の突破力と実践知-

○龍野 八重子
医療法人 AGRIE 医療安全管理部

4 継続研修が導く TeamSTEPPS研修導入と持続可能な定着への挑戦 ～オンデマンドと対面のハイブリッド研修～

○土谷 周平¹、池田 康幸²、松下 真嘉³、綱川 郁弥⁴、福島 智子⁵、石塚 かつ子⁶、古田 大⁷、
栗山 千愛里⁷、岩本 淳一⁷、柳田 国夫⁸

¹東京医科大学茨城医療センター 臨床工学科、²同看護部、³同放射線部、⁴同薬剤部、⁵同中央検査部、
⁶同医療の質管理室、⁷同医療安全管理室、⁸病院長

5 持続可能なチームSTEPPSのエッセンスを探る ～北里大学病院の継続的な取り組み～

○荒井 有美
北里大学病院 医療安全推進室

16:00～17:30 パネルディスカッション 11

座長：南須原 康行（北海道大学病院 医療安全管理部）
荒井 有美（北里大学病院 医療安全推進室）

【医療事故調査等関連委員会企画】 医療事故調査や事例検証におけるメディカルスタッフの役割

1 薬剤師の立場から -医薬品安全管理責任者の視点-

○中村 浩規
恩賜財団済生会 北上済生会病院 薬剤科

2 看護師の立場から

○塩津 昭子
倉敷中央病院 HQM推進センター 患者安全推進室

3 医療事故調査や事例検証におけるメディカルスタッフの役割 ～臨床工学技士の立場から～

○宗万 孝次
旭川医科大学病院 診療技術部臨床工学技術部門

- 4 **事務職員の立場から**
○伊東 香里
横浜市立大学附属病院 医療安全管理部
- 5 **システム視点・心理学の観点からの事故究明**
○田中 健次
電気通信大学産学官連携センター

第5会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 第1展示場 A

9:00～10:30 パネルディスカッション 12

座長：遠田 光子（公益財団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部）

医療安全管理者の後継者育成と引継ぎ問題の現状と課題 part2
～生成AIを活用した業務の実際と新たな活用の検討～

- 1 認定病院患者安全推進協議会（PSP）の活動紹介と事務局で活用する生成AI
○遠田 光子¹、長谷川 剛²
¹日本医療機能評価機構 教育研修事業部、²泉大津急性期メディカルセンター クオリティ管理センター
- 2 当院医療安全管理におけるAI活用の実際
○小諸 信宏
セコメディック病院 医療安全管理室
- 3 AI・DX導入による医療安全業務効率化へ向けて
○新村 美佐香
医療法人五会会菊名記念病院
- 4 生成AI×医療安全：Patient Safety 4.0 へのロードマップ
○助永 親彦
隠岐広域連合立隠岐病院 麻酔科
- 5 インシデントレポートシステムの課題とAI活用による新たな可能性
○田島 英明
一般社団法人医療安全全国共同行動

10:40～12:10 パネルディスカッション 13

座長：長谷川 剛（泉大津急性期メディカルセンター）

野口 悟司（株式会社日経サービス メディカルサポート部）

業務委託会社と医療機関との境界を越えた協働による安全マネジメント

- 1 危機的状況を委託会社との協働で乗り越えた二事例
○長谷川 剛
泉大津急性期メディカルセンター
- 2 弊社での安全対策の取り組み事例
○大町 智之
ワタキューセイモア株式会社 請負事業部
- 3 医療機器保守における安全マネジメントの実践
○佐々木 健
株式会社 伸和
- 4 安全対策体制の構築とその変遷
○野口 悟司
株式会社日経サービス メディカルサポート部

共催：日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

中村 京太（横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部）

○新谷 拓也^{1,2}、吉田 直樹^{1,2}、滝沢 牧子³、北村 温美²、奥田 真弘¹、中島 和江²

¹大阪大学医学部附属病院 薬剤部、²大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

³ 埼玉医科大学総合医療センター 医療安全対策室

○伊東 弘樹

大分大学医学部附属病院 薬剤部

○德增 裕官^{1,2}

¹大原記念倉敷中央医療機構 臨床医学研究所、²大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 未承認適応外使用等評価部

○菅野 浩

濟生会横浜市東部病院 薬剤部／医療安全管理室／臨床研究支援室

○大内 直美^{1,2}、川邊 一寛³、谷垣 柊乃介³、石川 佳世子^{1,4}、川野 道子^{1,4,5}、宇野 洋司^{1,3}、
吉水 輩子^{1,2,5}、小杉 三弥子^{1,3,5}、中村 京太^{1,5}

¹横浜市立大学附属市民総合医療センター 高難度等評価部

²横浜市立大学附属市民総合医療センター 看護部、³横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部

⁴横浜市立大学附属市民総合医療センター 総務課 医療管理担当、⁵横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部

○新村 美佐香

医療法人五星会菊名記念病院

浦松 雅史（東京医科大学 医療の質・安全管理学分野）

"The Quality Improvement Journey"

○宮下 照美

藤田医科大学病院 病院機能管理・ICI対策室／医療の質安全対策部・医療の質管理室

- 2 **品質保証室の業務 ～データマネージャーの目線から～**
 ○松本 聡子
 NTT 東日本関東病院 品質保証室
- 3 **聖路加医療の質管理室による医療の質向上の体系化と推進体制の構築**
 ○水野 篤
 聖路加国際病院 医療の質管理室
- 4 **医療の質管理への医療安全管理部門の関わり –久留米大学病院の取り組み–**
 ○横山 晋二¹、林 ゆかり²、早川 晴美¹、田中 美穂¹、合原 則隆¹、堤 一貴¹
 ¹久留米大学病院 医療安全管理部、²久留米大学病院 看護部管理室

第6会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 第1展示場 B

9:00～10:30 パネルディスカッション 15

座長：石田 岳史（東京科学大学 総合診療科）
小山 昌利（公立陶生病院）

MACT活動のKey Point ～困りごと話し合いませんか～

1 MACT活動の課題とその乗り越え方

○富永 あや子
社会医療法人さいたま市民医療センター 臨床工学科2 北里大学病院におけるMACT活動10年の軌跡とこれから
～生体情報モニタ適正使用と多職種協働の実践から見えた気づき～○箱田 美知恵
北里大学病院 看護部

3 あいちMACTの活動における課題と対応

○勝 啓佑¹、泉 雄介¹、廣島 嘉人¹、水谷 卓史²、柚原 尚子²、井上 里恵²、福井 高幸³、
天野 哲也⁴
¹愛知医科大学病院 臨床工学科、²愛知医科大学病院 看護部、³愛知医科大学病院 呼吸器外科、
⁴愛知医科大学病院 循環器内科

4 MACTの立ち上げと現在の取り組み

○沖島 正幸¹、谷 亮太¹、辻川 圭亮¹、兵藤 好行¹、萩原 美保⁴、中根 生弥⁴、加納 千津子⁴、
大橋 大器^{2,4}、金子 鎮二²、金山 康秀^{3,4}
¹JA愛知厚生連 豊田厚生病院 臨床工学室、²JA愛知厚生連 豊田厚生病院 循環器内科、
³JA愛知厚生連 豊田厚生病院 整形外科、⁴JA愛知厚生連 豊田厚生病院 医療安全管理部

5 Safety- IIでデザインするMACT活動

○新開 裕幸、勇 佳菜江、徳平 夏子、北村 温美、中島 和江
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

10:40～12:10 パネルディスカッション 16

座長：本田 靖雅（社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室）
北村 孝一（大阪公立大学医学部附属病院 中央手術部／医療機器部）

【医薬品・医療機器・放射線安全委員会 医療機器部会企画】

多職種から見た医療機器の安全管理

1 小規模病院における医療機器安全管理について

○重岡 麻紀
医療法人社団祐生会 祐生病院2 看護部が主体となる医療機器管理と臨床工学技士との連携体制の実際
－院外CE部との協働による安全な医療提供を目指して－○勝本 孝子
洛和会音羽リハビリテーション病院 看護部

3 小規模病院における医療機器安全管理について

○高井 正史
大阪府済生会新泉南病院 放射線課

4 大規模病院の医療機器安全管理と臨床工学技士の関り

○土谷 真基、坂野 梨絵、楠本 記也
福岡徳洲会病院

コメンテーター：近本 亮(熊本大学病院 医療の質・安全管理部)
松田 晋也(東京都済生会向島病院 医療安全管理室)

12:30~13:20 教育セミナー 4

座長：寺田 智祐（京都大学医学部附属病院 薬剤部）

RMPと副作用DBツール

「抗がん剤治療を支える副作用DBツールとPHRアプリ」
～医療DXと患者への共感の接点を求めて～

○木本 真司
竹田総合病院 薬剤部

共催：中外製薬株式会社

13:40~15:10 パネルディスカッション 17

座長：松田 晋也（東京都済生会向島病院 医療安全管理室）
渡邊 幸子（医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院）

様々な職種の医療安全管理者への期待 ～医師・看護師以外への拡大～

1 オープニングリマークス 医師・看護師以外の職種が専従（専任）医療安全管理者を担うということ

○渡邊 幸子
医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院

2 「To Err Is Human」を超えて：
診療放射線技師による現場からの医療安全の挑戦と未来診療放射線科

○宮本 直武^{1,2,3}、濱田 修²、中島 弘満^{1,2}、藤川 有紀子²、春名 進之介²、菊地 希代司²、
佐藤 貴幸²、田上 泰成²、三浦 里鹿²、菊池 明泰⁴

¹士別市立病院 診療技術部診療放射線科、²士別市立病院 医療安全管理室、

³北海道科学大学 保健医療学研究科 医療技術学専攻修、⁴北海道科学大学 保健医療学部 診療放射線学科

3 臨床工学技士の医療安全管理者として

○吉田 久美子
洛和会音羽記念病院 CE部

4 臨床検査技師の医療安全管理者が目指した多職種協働

○佐藤 恭江
総合病院岡山協立病院

5 薬剤師から医療安全管理者となった22年間を振り返って

○楠本 茂雅
社会医療法人 生長会 クオリティ・マネジメント本部

16:00~17:00 一般演題（口演）1 活動報告

座長：玉木 茂久（伊勢赤十字病院 医療安全推進室／血液内科）

教育（1）

O-1-1 看護学科学生は放射線診療の安全管理について十分な知識を得ているか

○島崎 綾子^{1,2}、渡邊 治翔³、柳田 悠希⁴、対馬 義人⁵、田中 和美^{2,6}

¹群馬バース大学医療技術学部 放射線学科、²群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学、

³群馬バース大学医療技術学部 放射線学科（現 医療法人財団明理会春日部中央総合病院）、

⁴群馬バース大学医療技術学部 放射線学科（現 一般財団法人とちぎメディカルセンター）、

⁵群馬大学大学院医学系研究科 放射線診断核医学、⁶群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部

O-1-2 愛知医科大学病院における診療看護師（NP）の活動整備に向けた卒後研修の取り組み○高林 拓也¹、森 一直¹、奥村 将年²、田中 千晶¹¹愛知医科大学病院 NP部、²愛知医科大学病院 医療安全管理室**O-1-3 医療安全管理に焦点をあてた統合看護学実習の再構築
ーコンピテンシー基盤型教育への対応と評価表の工夫ー**○秋山 直美¹、梶原 志保子²、今福 輪太郎¹、一柳 省吾³、宮津 光範³、尾崎 康彦⁴¹名古屋市立大学 大学院看護学研究科、²名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター、³あいち小児保健医療総合センター 麻酔科、⁴名古屋市立大学医学部附属西部医療センター 産婦人科**O-1-4 心理的安全性の向上によるコミュニケーションエラーの低減
ーTeamSTEPPS[®]を導入してー**

○石端 翔雄、澤野 多貴、岩切 ひかり、荻野 俊美

JCHO 神戸中央病院

**O-1-5 TeamSTEPPS[®]を現場で実践しエラー予防につなげる
ーインシデント事例のふり返りから実践へー**○森 恵理¹、桑原 克馬¹、加茂 知美¹、福井 諭¹、三上 知里¹、中野 悦代¹、鈴木 美由紀²¹聖隷浜松病院 看護部、²聖隷浜松病院 安全管理室**O-1-6 This is 科学大流
ー救急救命士の卒後教育に関する取り組みと10年間の振り返りー**

○北原 嶺、加藤 渚、中堤 啓太、小島 光暁、森下 幸治

東京科学大学病院 救命救急センター

17:10~18:10 一般演題（口演）2 活動報告

座長：新谷 拓也（大阪大学医学部附属病院）

医薬品（1）**O-2-1 高用量静注鉄剤の血管外漏出に対するリスク管理**○山口 佳津騎¹、村上 和司¹、松浦 奈都美¹、酒井 佳代¹、合田 幸伸¹、近藤 恵¹、門田 敏秀²、田中 裕章³、小坂 信二³、杉元 幹史¹¹香川大学医学部附属病院 医療安全管理部、²香川大学医学部附属病院 医療技術部 放射線部門、³香川大学医学部附属病院 薬剤部**O-2-2 内服薬セット時のダブルチェック廃止による必要性の再考**

○荒巻 美鈴、新鹿 深夏、福村 文雄

飯塚病院 医療安全推進室

O-2-3 続・確認方法のルール化と注射薬ダブルチェック対象限定の取り組み

○篠原 由美、田中 由香、飛田 俊幸

済生会新潟病院 医療安全管理室

O-2-4 看護師の投薬準備に導入したシングルチェックがもたらす安全性への影響○舟橋 智美¹、大畑 めぐみ¹、脇田 美和¹、小林 千尋¹、奥村 将年¹、大西 正文²、伊藤 清顕¹¹愛知医科大学病院 医療安全管理室、²愛知医科大学病院 薬剤部**O-2-5 持続的血液濾過透析患者の抗凝固薬組成間違い再発防止策の取り組み**

○遠藤 貴子、山田 緑、山中 陽平、平井 理心、茂木 芳賢、小川 孝二郎、中澤 健介、和田 哲郎

筑波大学附属病院 医療安全管理部

**O-2-6 外用薬処方における用法記載形式の見直し
ー処方の明確化とインシデントへの影響ー**○川名 賢一郎^{1,2}、京野 陽子¹、笠井 愛^{1,3}、後藤 一美²、服部 一紀^{1,4}¹聖路加国際病院 QIセンター医療安全管理室、²同 薬剤部、³同 看護部、⁴同 泌尿器科

第7会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 日図デザイン博物館 B

9:00~10:30 パネルディスカッション 18

座長：清水 郁夫（千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部）
田中 和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学）

職種共通の日本版医療安全コンピテンシーフレームワークを作ろう（患者安全部門編）

1 各職種モデル・コア・カリキュラムにおける医療の質・安全領域の取り扱いと、各国の医療の質・安全コンピテンシー

○清水 郁夫
千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部

2 各職種モデル・コア・カリキュラムの質・安全領域を質的分析手法により分類・整理しよう

○西村 礼子
東京医療保健大学

3 全体討論（患者安全コンピテンシーフレームワークの提案）

○田中 和美
群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学

職種共通の日本版医療安全コンピテンシーフレームワークを作ろう（患者安全部門編）

ファシリテーター：渡辺 恵（群馬大学 多職種人材育成のための医療安全教育センター）

10:40~12:10 パネルディスカッション 19

座長：新田 雅彦（大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室）
中村 京太（横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部）

院内心停止から考える患者安全と持続的な質の改善：
国際基準に基づく院内心停止登録システムの構築から院内救命教育、RRS まで

1 企画説明

○新田 雅彦
大阪医科薬科大学病院 医療安全推進室／大阪医科薬科大学 救急医学／大阪医科薬科大学 小児科学

2 院内心停止に対する国際蘇生連絡委員会の10stepsについて

○松山 匡
京都府立医科大学病院 救急医療学教室

3 医療事故データベース分析からみる院内心停止発生時の特徴

○西山 知佳¹、中井 千夏²、塩住 忠春³、乗井 達守⁴、石見 拓²
¹京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端中核看護科学講座クリティカルケア看護学分野、
²京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻予防医療学分野、
³京都府立医科大学 大学院医学研究科 救急・災害医療システム学、⁴ニューメキシコ大学医学部

4 Rapid Response System と院内心停止 - データから見えてきた課題と展望 -

○木口 雄之
大阪急性期・総合医療センター 救急診療科

5 非医療従事者も含めた院内スタッフへの戦略的救命教育

○廣瀬 智也、酒井 智彦、清水 健太郎、入澤 太郎、織田 順
大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

13:40～15:10 シンポジウム 6

座長：小坂 鎮太郎（都立広尾病院 病院総合診療科／医療安全管理室）
飯干 泰彦（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科）

四方良しのタスクシフト ～質と安全を高める多職種連携のプランニング～

- 1 PBPMを活用した診療科薬剤師によるタスクシフト：
処方エラーをなくす取り組み
○永倉 史子、小坂 鎮太郎
地方独立行政法人 東京都立広尾病院 病院総合診療科
- 2 麻酔科、外科、手術室看護師と協働して安全な周術期環境を構築するシステムづくり
○笠野 靖代¹、上塚 翼¹、高宗 伸次¹、岩崎 麻里絵¹、荒木 康幸¹、原武 義和²
¹済生会熊本病院 臨床工学部門、²済生会熊本病院 麻酔科
- 3 医師からタスク・シフト／シェアを受ける職種における各タスクの希望連携職種及び最終責任職種の意向調査
－ FRAM図を用いた多職種連携による受け入れ体制の立案－
○田中 真咲
神戸市立医療センター中央市民病院 医療安全管理室
- 4 タスク・シフトに関わる医療訴訟の判例分析
○前田 大槻¹、飯干 泰彦¹、大村 優華^{1,2}、戸田 満秋¹
¹滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科、²大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

16:00～17:00 一般演題（口演）3

活動報告

座長：西條 文人（東北大学病院）

タスクシフト・チーム医療

- O-3-1 スチュワードシップの導入を通じて得られた知見
－ 夜間看護体制・緊急時対応をターゲットに－
○松本 秀樹^{1,2}、朝倉 幸子^{1,2}、五十嵐 由佳^{1,2}、古元 克好^{1,3}、林 秀樹^{1,3}
¹医療法人林病院 医療安全対策室、²医療法人林病院 看護部、³医療法人林病院 外科
- O-3-2 当直オンコール体制導入と現状 ～医師の働き方改革と向き合う取り組み～
○夏原 みゆき、藤川 朋子、兵頭 富貴子
京都大学医学部附属病院 看護部 消化管外科
- O-3-3 特定行為看護師の専門性を活かしたインシデント予防の取り組みとその効果
○三浦 佐都美¹、曾我 友理¹、野口 真一¹、湯沢 伸子¹、相場 雅代²
¹自治医科大学附属病院 救急病棟、²自治医科大学附属病院 看護部
- O-3-4 特定行為看護師間での連携による安全なPICC挿入と管理に向けた取り組み
○曾篠 有里、齋藤 由香里、三浦 佐都美、堀田 春香、鈴木 伸之
自治医科大学附属病院 看護部
- O-3-5 高度救命救急センターにおける退院支援看護師とのペアリング支援を通じたMSWの調整機能の検討
○乾 均、福本 由郁
奈良県立医科大学附属病院 地域連携・入退院支援センター
- O-3-6 看護補助者との安全な協働を目指した取り組み
～わかりやすい指示書を作成して～
○川添 千愛、福井 雅美
神戸赤十字病院 看護部

17:10~18:10 一般演題(口演) 4 活動報告

座長：郷間 巖（堺市立総合医療センター 呼吸器内科／栄養管理センター）

安全文化(1)

O-4-1 多職種で関わる人工呼吸器関連肺炎事象(VAE)サーベイランス運用の取り組み

○中野 のぞみ、北澤 淳一、赤平 恵美
青森県立中央病院

O-4-2 Safety- IIを臨床現場で実践可能とするための、病棟副看護師長を対象とした“医療安全部門一日体験”の取り組み

○勇 佳菜江、新開 裕幸、上間 あおい、徳平 夏子、北村 温美、中島 和江
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

O-4-3 外来部門の医療安全活動体制づくりと医療安全文化の向上
～医療安全管理者の外来部門への支援～

○大庭 明子¹、山岸 八重乃¹、亀森 康子¹、千葉 友紀²、仁平 貴子²、齊藤 正昭¹
¹自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室、
²自治医科大学附属さいたま医療センター 外来1

O-4-4 ホワイトボード・ミーティング®を活用した対話の場づくり
～ファシリテーションスキルの向上を目指した取り組み～

○深川 良美、内藤 加奈子、飯田 恵
京都大学医学部附属病院 看護部

O-4-5 院内医療安全研修会の内容見直しと受講率の相関について

○山中 利加
地方独立行政法人 市立大津市民病院 医療の質・安全管理室

O-4-6 医療安全文化の醸成に向けたブレインストーミング型カンファレンスの実践
～P-mSHELL分析を活用した主体的学びの促進～

○丸岡 亜由美、小林 加奈子
宇治徳洲会病院 医療安全管理室

第8会場

京都市勧業館みやこめッセ B1F 日図デザイン博物館 A

9:00~10:30 学会連携企画パネルディスカッション 1

座長：綿貫 聡（医療社団法人うちの診療所）
志水 太郎（獨協医科大学総合診療科）

【医療の質・安全学会／医療安全全国共同行動患者安全行動計画2企画】

医療安全管理者が診断の質に疑義を抱いたとき、どのようにするのがよいでしょうか？

1 診断の質・安全性に関連した総論

○綿貫 聡
医療法人社団うちの診療所

2 診断の質に関する国内外の議論

○栗原 健
名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部

3 医療安全管理者が診断の安全性・質に疑義を感じたとき：看護師の視点

○南 恵
地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 医療安全管理センター

4 医療安全管理者が診断の質・安全性に疑義を感じたとき：専従薬剤師の視点

○中西 敏博¹、石木 良治²、久田 達也¹、小園 利加¹、郡司 藍¹、油井 直樹¹
¹トヨタ記念病院 医療安全管理グループ、²トヨタ記念病院 副院長

5 診断版 TeamSTEPPSの多職種での活用提案

○原田 侑典
獨協医科大学総合診療医学

6 診断チェックリストの多職種での活用提案

○和足 孝之
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター10:40~12:10 パネルディスカッション 20 座長：対馬 義人（群馬大学大学院医学系研究科 放射線診断核医学）
田中 和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学）

画像診断報告書未読問題を整理する ―― そろそろ標準化しませんか ――

1 画像診断報告書未読が生ずる構造的問題 ――放射線科医の立場から――

○飯田 茂晴
新京都南病院

2 日本学術会議臨床医学委員会放射線・臨床検査分科会からの提言

○井上 優介
駒澤大学医療健康科学部診療放射線技術科学科

3 画像診断報告書未読問題における医療情報システムの活用

○滝沢 牧子
埼玉医科大学総合医療センター 医療安全管理学4 群馬大学附属病院Star Search
～実行によって何が変わったのか。そしてその次の問題とは～○平澤 裕美¹、大石 裕子²、田中 和美²、対馬 義人^{1,3}
¹群馬大学医学部附属病院 放射線部、²群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部、
³群馬大学医学部附属病院 放射線診断核医学科

13:40~14:40 一般演題(口演) 5 活動報告

座長: 須田 喜代美(一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院)

転倒・転落(1)

O-5-1 当院における外来患者の転倒を予防するための取り組み

○進藤 竜太¹、山上 潤一¹、青嶋 保志²、外海 祐輔³、宮下 照美⁴、小池 大助¹、大高 洋平⁵¹藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部 医療の質管理室、²藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部 安全管理室、³藤田医科大学病院 リハビリテーション部、⁴藤田医科大学病院 病院機能管理・JCI対策室、⁵藤田医科大学 医学部 リハビリテーション医学

O-5-2 てんとう虫シールを活用しての外来患者の転倒・転落予防について

○杉山 希、萩島 真弓、望月 佳澄、加藤 清美、高橋 真紀子、福澤 恵美

順天堂大学医学部附属静岡病院

O-5-3 転倒及び転倒による損傷件数の低減に向けた取り組みとその効果

○植村 佳絵¹、福井 敦士¹、浅野 博¹、川瀬 義久²¹公立陶生病院 医療品質管理部 医療安全管理室、²公立陶生病院 リハビリテーション科

O-5-4 急性期病院におけるリハビリテーション部の転倒転落の低減に向けた取り組み

○伊藤 和樹¹、谷野 元一¹、小島 菜保子²、上原 悦子³、戸田 美美⁴¹藤田医科大学 岡崎医療センター リハビリテーション部、²藤田医科大学 岡崎医療センター 看護部、³藤田医科大学 岡崎医療センター 安全管理部、⁴藤田医科大学 医学部リハビリテーション医学講座

O-5-5 再転倒転落発生率低下への取り組み

～転倒転落予防体操実施件数増加と周知活動を通じて～

○長谷川 智美、山本 希、萩島 真弓

順天堂大学医学部附属静岡病院

O-5-6 転倒リスク対応の明確化による事故予防の取り組み

○池田 尚哉、岩城 龍平、佐々木 恵、佐々木 祐輔、佐々木 忠司

岩手医科大学付属病院

14:50~15:50 一般演題(口演) 6 研究発表

座長: 黒川 美知代(日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部)

転倒・転落(2)

O-6-1 静脈血栓塞栓症予防と転倒転落リスクを考える

○山本 尚人

浜松医療センター 血管外科、医療安全管理室

O-6-2 がん薬物療法と転倒・転落の関連性の検討

○養田 絢子^{1,2}、岡田 佐知子^{3,4}、杉村 雅文⁵、鎌田 健司⁶、玉本 和紀⁹、唐澤 沙織^{7,8}、山本 宗孝^{7,8}、小林 弘幸⁷、飯島 佐知子¹⁰¹順天堂大学大学院医療看護学研究科 博士前期課程、²順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院 医療安全管理室、³順天堂大学健康総合科学先端研究機構 次世代細胞・免疫治療学プロジェクト、⁴瀬田クリニック臨床研究・治験センター、⁵順天堂情報センター本部 本郷地区情報センター、⁶明治大学 政治経済学部、⁷順天堂大学医学部 病院管理学、⁸順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療安全機能管理室、⁹順天堂大学医学部附属順天堂医院 看護部、¹⁰順天堂大学医療看護学部 看護管理学

O-6-3 転倒防止におけるアセスメント精度と標準対策遵守の実態分析

○上原 徹也

神鋼記念病院 消化器外科

O-6-4 転倒転落を防ぐための看護師の課題

ーインシデントレポートとアセスメントシートの要因比較ー

○矢田貝 直樹、稲垣 智也

神戸赤十字病院

O-6-5 転倒・転落アセスメントスコアから見た骨折ハイリスク患者の特徴と予防戦略

○立津 央¹、石井 正将²、山ノ内 祥訓³、北島 ちひろ¹、境田 智子¹、大島 木綿子¹、
宮本 晋治¹、山下 大輔¹、森山 嘉子¹、近本 亮¹

¹熊本大学病院 医療の質・安全管理部、²熊本大学病院 医療情報経営企画部、
³熊本大学病院 総合臨床研究部

O-6-6 滑り止めのない履物が転倒インシデントに及ぼす影響

○張岳 輝子、江副 智美、里 加代子、辻 良香、栗原 慎太郎
長崎大学病院 安全管理部

16:00~17:00 一般演題(口演) 7 活動報告

座長：谷口 雄司(鳥取大学医学部附属病院 医療安全管理部)

患者中心の医療**O-7-1 患者意思決定支援を行うに際しての現状の課題と取り組み**

○貝沼 関志¹、坂下 絵美子²、平松 祐貴子³、平野 順子⁴

¹稲沢市民病院麻酔科、集中治療部、医療の質管理部、²稲沢市民病院看護局、
³稲沢市民病院がん相談支援センター、看護局、⁴稲沢市民病院医療の質管理部、看護局

O-7-2 接遇・医療サービス向上を目指した取り組み(第2報)

○榊枝 睦美¹、老沼 健一²、星野 隼也³、大畑 文昭⁴、坂入 世梨花⁵、勝城 友子¹、城守 美帆⁶、
小佐野 美智子⁷

¹社会医療法人中山会宇都宮記念病院 看護部、
²社会医療法人中山会宇都宮記念病院 リハビリテーション科、
³社会医療法人中山会宇都宮記念病院 検査科、⁴社会医療法人中山会宇都宮記念病院 臨床工学科、
⁵社会医療法人中山会宇都宮記念病院 総務部、⁶社会医療法人中山会宇都宮記念病院 医局、
⁷株式会社 C-plan

**O-7-3 患者中心の医療・リハビリテーションを知る
－医療者の精神的支援から始まる患者・家族支援－**

○金田 潤成、豊田 郁子、伊東 律子、佐藤 希美、北 美奈子、中村 凌也、八木 美季奈、
間宮 史拓、栗屋 幸一
イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院

O-7-4 新入職者対象研修としてのpatient journey mappingの導入

○増田 雄一¹、牧田 ゆかり¹、熊崎 康介¹、井出 貴之¹、田中 和美^{2,3}

¹信州大学医学部附属病院 医療安全管理室、²群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学、
³群馬大学多職種医療人材育成のための医療安全教育センター

O-7-5 多職種参加型ACP研修における効果と推進にむけた課題

○井上 真奈美¹、染木 那優¹、加藤 朋代¹、新屋 理良²、寒河江 悟³

¹社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 看護部、
²社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 医療連携相談部、
³社会医療法人孝仁会 札幌孝仁会記念病院 診療部

O-7-6 「患者・家族からの指摘」で発見されたインシデント報告の現状と課題

○二階堂 名奈、植木 輝、寺澤 友基子、渡邊 奈津子、北川 亘
伊藤病院医療安全管理室

17:10~18:10 一般演題(口演) 8 研究発表

座長：鈴木 真(社会医療法人友愛会 TQM推進室)

リスク・マネジメント(1)**O-8-1 外来患者における転倒後の有害事象の頻度とリスク因子の検討**

○小谷 英太郎¹、武田 征子²、飯田 美佐子²、高木 由希子²、山本 裕之¹、宮尾 江里子^{1,2}

¹日本医科大学多摩永山病院 医療安全管理部、²日本医科大学多摩永山病院 看護部

O-8-2 医療の質改善活動における業務効率化とコスト削減に影響する要因と構成要素に関する一考察

○江口 美奈子¹、秋山 剛²、村岡 修子¹

¹NTT東日本関東病院 品質保証室、²六番町メンタルクリニック

O-8-3 頸椎前方術後気道閉塞に対する Action プロトコルの導入初期の有用性検証

○山田 賢太郎¹、田村 聡至¹、江川 聡¹、工藤 篤²、平井 高志¹、坂井 顕一郎³、大川 淳⁴、吉井 俊貴¹

¹東京科学大学 整形外科、²東京科学大学 医療安全管理学分野、³済生会川口総合病院 整形外科、

⁴横浜市立みなと赤十字病院

O-8-4 リハビリテーション中のバイタルサインの急激な変動や自覚症状の出現に関する要因についての検討

○山内 真哉¹、笹沼 直樹¹、江口 明世²、高橋 敬子²、内山 侑紀³、道免 和久³

¹兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部、

²兵庫医科大学 内科学 循環器・腎透析内科学 医療クオリティマネジメント学、

³兵庫医科大学リハビリテーション医学講座

O-8-5 身体拘束最小化の取り組み前後での患者安全への影響～ドレーン・チューブ類の初回自己抜去患者での検討～

○柴崎 千佳子¹、高橋 博愛¹、稲富 久人^{1,2}、吉川 朱実³

¹社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 医療安全管理室、

²社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 内科、³社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 看護部

O-8-6 術後せん妄と身体抑制の状況からみる現状調査

○小平 美槻

仙台市立病院 看護部

第9会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 特別展示場 A

9:00~10:00 English Speaking Session 1

Chairs : Andrew Carson-Stevens (Cardiff University)

Mariko Morishita (Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Patient Safety)

1 Developing and validating a questionnaire tool to assess the anxiety regarding medication single-checking in nurses

○ Altanshagai Ganbileg¹, Mariko Morishita², Megumi Iida², Sawako Hiroi¹, Takashi Yamamoto³, Yu Hidaka⁴, Yumi Matsumura^{1,2}¹Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Patient Safety,²Kyoto University Hospital, ³Osaka Red cross Hospital,⁴Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Biomedical Statistics and Bioinformatics

2 MRSA screening positivity rate among hospital attendees at a University Hospital in Mongolia

○ Dulguun E.¹, Bazardari Ch.¹, Zolzaya D.¹, Batzaya .B.², Amgalanzaya E.², Bolortuya Batbileg¹¹Department of Infection Prevention and Control, Mongolia-Japan Hospital of MNUMS,²Department of Clinical Laboratory, Mongolia-Japan Hospital of MNUMS,³Department of Microbiology and Infection Prevention and Control, School of Biomedicine, MNUMS

3 Enhancing rational antibiotic use: A two-year review of antimicrobial rounds at Mongolia-Japan Hospital

○ Battogtokh .Ch¹, Delgermaa .Ts¹, Khulan .A¹, Nomin-Erdene .Ts¹, Amgalanzaya E.¹, Mungunchimeg .M¹, Dulguun E.¹, Delgermaa .Sh¹, Bolortuya Batbileg¹, Zolzaya D.^{1,2}, Battogtokh .Ch^{1,2,3}¹Mongolia-Japan hospital of MNUMS,²Microbiology, Infection Prevention and Control, School of Bio Medicine, MNUMS,³Institute of Bio Medicine, MNUMS

4 Leading Mongolia's Journey Toward Safer Healthcare: A Decade of Quality and Safety Advancement at Intermed Hospital

○ Enkhtuya Dagvadorj

Intermed Hospital, Mongolia

10:15~11:00 English Speaking Session 2

Chairs : Andrew Carson-Stevens (Cardiff University)

Altanshagai Ganbileg (Kyoto University Graduate School of Medicine, Department of Patient Safety)

1 IMPLEMENTATION OF CODE BLUE MANAGEMENT

○ Elbegzaya Sukhdorj¹, Ts. Tserendolgor¹, Bolortuya Batbileg²¹Department of Risk Management, Mongolian-Japanese Hospital of MNUMS,²Department of Quality and Safety, Mongolian-Japanese Hospital of MNUMS

2 RELATIONSHIP BETWEEN PATIENT SAFETY TRAINING AND REPORTED INCIDENTS IN A HOSPITAL SETTING

○ Bolortuya Batbileg, Elbegzaya Sukhdorj, Ts. Tserendolgor

Department of Risk Management, Mongolian-Japanese Hospital of MNUMS

3 Differences in Contributing Factors to Diagnostic Errors between Physicians and Allied Health Professionals: A Nationwide Analysis in Japan

○Ikuo Shimizu¹, Kiyoshi Shikino², Yukinori Harada³, Masaru Kurihara⁴, Kazumi Tanaka⁵,
Yuichi Masuda⁶, Satoshi Watanuki⁷, Yuko Ohishi⁵, Kosuke Ishidsuka⁸, Taro Shimizu³

¹Chiba University, Department of Quality and Patient Safety,

²Chiba University Graduate School of Medicine School of Medicine, Department of Community-Oriented Medical Education.

³Dokkyo Medical University Hospital, Department of Diagnostic and Generalist Medicine,

⁴Nagoya University Hospital, Department of Patient Safety,

⁵Gunma University Graduate School of Medicine School of Medicine.

Department of Healthcare Quality and Safety,

⁶Shinshu University Hospital, Medical Safety Management Room, ⁷Ouchino Clinic,

⁸Yokohama City University School of Medicine Graduate School of Medicine.

Department of General Medicine

11:10~12:10 教育講演 1

座長：栗原 健（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

世界における患者安全の取り組み プライマリ・ケアを中心にー

○ Andrew Carson-Stevens

英国・カーディフ大学

共催：地方独立行政法人 東京都立病院機構

12:30~13:20 教育セミナー 5

座長：小阪 直史（京都府立医科大学附属病院 薬剤部）

医療安全から考える不眠症薬物療法

～ベンゾジアゼピン受容体作動性睡眠薬使用者への新規睡眠薬導入効果に関する

研究を通じて～

○綾仁 信貴

京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学／
独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター 精神科

共催：エーザイ株式会社

13:40~14:40 一般演題（口演）9

活動報告

座長：菅野 隆彦（下伊那厚生病院）

報告制度

0-9-1 当院におけるレベル0のインシデント報告の経緯 ～ Safety- I から Safety- II へのアプローチ～

○櫻井 和明

日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 放射線科部

0-9-2 インシデント報告から読み解くノンテクニカルスキル向上の有用性

○二階堂 里美、新田 真由美、佐藤 友美、菅原 明美、佐藤 智信

北見赤十字病院 医療安全推進室

O-9-3 公益財団法人日本医療機能評価機構への事故等事案に対する適切な報告に向けた取り組み

○松本 雅弘¹、高橋 智子¹、唐澤 沙織^{1,2}、瀧澤 光¹、榎本 晃宏¹、分須 成美¹、鈴木 麻衣^{1,3}、
山本 宗孝^{1,2}、高木 辰哉^{1,4,5}、小林 弘幸^{2,5}

¹順天堂大学医学部附属順天堂医院 医療安全機能管理室、²順天堂大学医学部 病院管理学研究室

³ 順天堂大学医学部 総合診療科学講座、⁴ 順天堂大学医学部 緩和医療学研究室

⁵ 順天堂大学医学部 総合診療科 学術座、順天堂大学
順天堂大学医学部 附属順天堂医院 医療安全推進部

O-9-4 医療安全情報の発信ツールを整備し定着化に向けた取り組み

○阿部 葉子、三枝 典子、岩田 香、松尾 康滋
前橋赤十字病院 医療安全推進室

O-9-5 組織的意思決定の迅速化への試み -特に登録分析機関への報告について-

○叶川 直哉^{1,2}、坂井 直子⁹、岩瀬 有希^{2,3}、江幡 智栄^{2,3}、鈴木 達也^{2,4}、清水 郁夫^{2,5}、
高野 重昭^{2,6}、宮内 秀行^{2,7}、上里 昌也^{2,8}、相馬 孝博²
¹千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学、²千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部、
³千葉大学医学部附属病院 看護局、⁴千葉大学医学部附属病院 薬剤部、
⁵千葉大学大学院医学研究院 医学教育学、⁶千葉大学大学院医学研究院 臓器制御外科学、
⁷千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学、⁸千葉大学大学院医学研究院 先端応用外科学、
⁹千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

O-9-6 甲状腺専門病院での診療部におけるインシデントの解析

○北川 亘^{1,2}、植木 輝²、二階堂 名奈²、寺澤 友基子²、渡邊 奈津子²、伊藤 公一¹
¹伊藤病院 外科、²伊藤病院 医療安全管理室

14:50~15:50 一般演題(口演) 10 研究発表 座長：安部 猛(福島県立医科大学 総合科学教育研究センター)

医療機器(1)**O-10-1 院内報告データに基づく医療機器インシデントの傾向分析とリスク評価**

○中井 歩^{1,2}、白山 佐江子²、中原 智美²、山名 哲郎²
¹独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 臨床工学部、
²独立行政法人 地域医療機能推進機構 東京山手メディカルセンター 医療機器・用具安全管理部会

O-10-2 臨床工学技士臨床推論力尺度(CECRS)の開発と妥当性の検討

○楞野 哲寛^{1,2}、岡 耕平²、吉本 圭一²
¹独立行政法人 地域医療機能推進機構 神戸中央病院 臨床工学部、²滋慶医療科学大学大学院

O-10-3 JCI認定病院として当院内視鏡専従CEの取り組みと少人数CEが実施する院内軟性内視鏡管理の工夫と展望

○西木 暁一¹、中山 竣平¹、北野 貴成¹、相木 一輝¹、一柳 宏¹、中村 正直²、川嶋 啓揮^{1,3}
¹名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部、²名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部、
³名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学

O-10-4 重力式の輸液調整装置と動力式輸液装置(輸液ポンプ・シリンジポンプ)との併用における安全性の検討

○大石 杏衣
Kiwi(フリーランス臨床工学技士)

O-10-5 GtPS(胃内チューブ位置確認装置)における胃内の経腸栄養剤残存の影響

○間藤 卓、江浦 史生
自治医科大学医学部救急医学講座/救命救急センター

O-10-6 輸液ポンプ・シリンジポンプのCQI分析 ~年度および施設間を比較して~ 第5報

○室橋 高男^{1,2}、柴田 貴幸³、完戸 陽介³、橋本 佳苗¹、寺本 篤史¹、橋本 暁佳²
¹札幌医科大学附属病院 臨床工学部、²札幌医科大学附属病院 医療安全部、
³JA北海道厚生連 帯広厚生病院 医療技術部臨床工学技術科

16:00~17:30 特別企画セミナー

がん医療の現場から考える院内自殺対策 ~こころの危機管理~

講師：藤森 麻衣子、岡村 優子
(国立研究開発法人 国立がん研究センター がん対策研究所 サバイバーシップ研究部)

17:40~18:40 ワークショップ 1

医療安全×生成AIお悩み解決ワークショップ
ー Chat GPT 活用で現場課題を解く 60分ハンズオンー

講師：助永 親彦(隠岐広域連合立隠岐病院 麻酔科／my GEMS)

第10会場

京都市勧業館みやこめっせ B1F 特別展示場 B

9:00~9:50 一般演題(口演) 11 活動報告

座長：岡田 浩（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系予防医科学）

医薬品(2)

0-11-1 ハザードドラッグの経管投与における曝露対策についての多部門協働での取り組み

○小倉 美佳¹、齊藤 江利加³、高麗 貴史³、阿部 葉子²、三枝 典子²、松尾 康滋²¹前橋赤十字病院 栄養サポート室、²前橋赤十字病院 医療安全推進室、³前橋赤十字病院 薬剤部

0-11-2 小児専門病院における入院サポートセンター開設による内服薬、食事オーダーの医療安全への貢献

○柳 貞光¹、森 里美²、石川 浩史¹、永渕 弘之¹、山本 啓央¹、笹 志寿子¹、滝原 悠太¹¹神奈川県立こども医療センター 医療安全推進室、²神奈川県立こども医療センター 総合診療科0-11-3 がん専門病院における安全な造影CT検査実施にむけた取り組み
ー造影剤によるアレルギー症状覚知時の対応の整備ー○後藤 志保¹、山田 舞¹、根本 真記²、山本 豊²、菅野 奈保子³、森 健作³¹がん研究会有明病院 看護部、²がん研究会有明病院 医療安全管理部、³がん研究会有明病院 画像診断部

0-11-4 医薬品の基本的情報の周知方法に関する取り組み

○宮本 晋治^{1,2}、大山 高廣²、境田 智子¹、大島 木綿子¹、北島 ちひろ¹、立津 央¹、
城野 博史²、近本 亮¹¹熊本大学病院 医療の質・安全管理部、²熊本大学病院 薬剤部

0-11-5 HIT既往および疑い患者に対する血管造影時のアルガトロバン使用手順の構築とその評価

○荻原 好章¹、柞磨 宏美²、寺山 朋美²、北川 千奈津³、久保 智司^{3,4}、姫野 隆洋⁴、宮本 欣倫⁵¹社会医療法人祥和会脳神経センター大田記念病院 診療技術部薬剤課、²看護部、³医療安全推進室、
⁴脳神経内科、⁵循環器内科

10:00~11:00 一般演題(口演) 12 活動報告

座長：大磯 義一郎（浜松医科大学医学部法学教室）

医療と法

0-12-1 カスタマーハラスメント対応マニュアルの作成と実践

○石津 真由美

医療法人橘会 東住吉森本病院

0-12-2 救命救急センターでの身体拘束、拘束時間の短縮化に向けた取り組み

○立川 晴菜、杉町 英子、大城 桃子、新本 知子

地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院 救命救急センター 看護部

0-12-3 人間作業モデル(MOHO)を用いた患者・家族支援による医療者との信頼関係構築の試みー攻撃的態度の背景に潜む不安への多職種連携ー

○小松 幹哉、豊田 郁子、大供 孝、伊東 律子、菊野 楓、古川 覚士

イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院

0-12-4 当院における3年間のペイシェントハラスメント報告の振り返り

○恒川 礼奈、橋爪 博隆、藤井 恵

新生会第一病院

0-12-5 仙台赤十字病院における身体拘束最小化の取り組み

○平 瞳

仙台赤十字病院

0-12-6 患者相談窓口における多職種協働による患者サポートの取り組み

○村田 明子、櫻井 厚士、後藤 圭司
地方独立行政法人 加古川市民病院機構 加古川中央市民病院

11:10~12:10 一般演題（口演）13 活動報告 座長：梶野 良知（加賀市医療センター 医療安全管理室／整形外科）

リスク・マネジメント（2）

0-13-1 多職種と患者家族を巻き込んだ転倒・転落予防への取り組み
～看護師の経験値に左右されない予防策の検討～

○藪田 雅子、小林 智範、吉田 慶之、角田 和博、和地 いつみ、清水 悠太、梅沢 亮
ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院

0-13-2 A病院外来患者の転倒・転落傾向に基づく多職種・患者協働の予防活動の取り組み

○高邑 小百合、清水 祥枝、岩佐 彩香、藤島 真紀子、井上 優子、竹本 裕子、倉田 典子
富山大学附属病院 看護部 外来

0-13-3 医療安全支援センターと共に医療の質・安全を考える
～医療安全支援センターとの円滑な連携の構築～

○亀森 康子、山岸 八重乃、大庭 明子、齊藤 正昭
自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部

0-13-4 当院の転倒転落の現状と今後の課題
～発生要因表を用いてインシデントレポート報告からの要因分析～

○清水 聡美、近岡 有貴、二ノ宮 聡子、田尻 和人
富山大学附属病院 医療安全管理部

0-13-5 “関係ない”から“自分ごと”へ
～非中核医療機関におけるBCP訓練と多職種協働の実践

○中田 直子
淀川平成病院 総務課

0-13-6 千葉県立5病院が一体となった持続可能な医療安全活動の質向上
～千葉県病院局を軸とした取り組みの推進～

○米須 貴子、坂 学、浮ヶ谷 芳子、土屋 博章、山崎 晋一朗
千葉県病院局

12:30~13:20 教育セミナー 6

座長：山元 恵子（富山福祉短期大学 看護学科）

経鼻栄養チューブのマネジメント ～ニプロの小冊子の取り扱い説明と安全対策～

1 ニプロの「経鼻栄養カテーテルのマネージメント」冊子の特徴

○山元 恵子
富山福祉短期大学 看護学科

2 当院における重症患者に対する早期栄養介入とNGT活用の現状

○遠藤 美織
一般社団法人竹田健康財団 竹田総合病院 栄養科

3 確認法の進化：X線4点確認法による経鼻胃管（NGT）挿入後位置確認の課題と
限界、検討課題を中心に

○喜田 裕也
医療法人琴仁会 光生病院 内科／人工透析部

共催：ニプロ株式会社

13:40~14:40 一般演題(口演) 14 研究発表

座長：坂口 美佐（日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部）

医療の質(1)

0-141 当院看護師が情報伝達不足を感じる要因について
－医療安全文化調査の結果から－○牧田 彰一郎¹、相原 厚美²¹静岡県立こども病院 医療安全管理部、²静岡県立こども病院 看護部

0-142 心不全患者の栄養状態の実態と推移

○大澤 美幸、御法川 亮、雨森 貴哉、成田 野乃果、金子 陽香、松浦 智子、筒井 和美
NTT 東日本札幌病院 10F 病棟

0-143 診療録のSOAP記載率向上に関するQI活動

○石垣 直輝、三浦 絢乃、東 秀隆、山浦 一郎
医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院0-144 看護業務量調査と看護師動線の実態調査からみえる業務改善への期待
～病棟特有の忙しさの分析から～○山田 寛子¹、窪田 可奈子¹、清水 淑未¹、柿並 ますみ¹、多田 真由美¹、諏訪 万恵¹、
矢部 剛生²、渡邊 志麻子²¹福井大学医学部附属病院、²株式会社ケアコム

0-145 Sustainableな褥瘡推定発生率低減を目指したマネジメントシステムの構築

○宮下 照美

藤田医科大学病院 病院機能管理・JCI対策室／医療の質安全対策部・医療の質管理室

0-146 当院におけるHCV抗体検査結果の通知の現状とその対策について

○田尻 和人^{1,2}、清水 聡美²、近岡 有貴²、二ノ宮 聡子²、横田 綾³、長島 久²¹富山大学医学部 第三内科、²富山大学附属病院 医療安全部、³富山大学附属病院 臨床検査部

14:50~15:50 一般演題(口演) 15 活動報告

座長：満園 裕樹（北九州市立医療センター 診療支援部放射線技術課）

リスク・マネジメント(3)

0-151 ※演題取下げ

0-152 キーワード抽出による画像診断報告書の見落とし低減と患者安全の向上

○牧野 光恭¹、赤城 香²、大内 道子²、大岩 喜恵²、小林 義和³、山口 志帆⁴、手塚 文善⁵、
上岡 久人⁶¹公立西知多総合病院 循環器内科、²医療安全管理室、³薬剤科、⁴診療情報管理室、⁵放射線科、⁶放射線診断科0-153 画像診断レポートの“要対応フラグ”患者における対応問題事例と依頼診療科の
関係および対応問題事例減少に向けた取り組み○山之口 賢、竹本 さと子、堀 郁子、相良 直哉、小池 秀治、近江 一昌、辻井 佳代、
濱田 泰成、古田 昭寛、森 章
大阪赤十字病院 医療安全推進室0-154 オカレンス報告設定を追加した改訂版IAレポートの導入とヒヤリハット数の
増加を目的とした具体事例の提示による安全文化の醸成○田久保 愛、吉野 瞳、細萱 順一、南方 友希子、長澤 みよえ
かわぐち心臓呼吸器病院 看護部、医療安全管理室

0-155 当院における画像診断レポート未読対策の現状

○大地 哲也、町田 恵美

横浜新緑総合病院 医療安全管理室

0-15-6 造影剤高圧注入可能なカテーテル抽出と院内周知への取り組み

○川添 都^{1,2}、水田 貴久美²、江本 晶子¹、吉村 麻里子¹、広橋 紀子^{1,2}、田中 淳^{1,3}、
山下 佳雄^{1,3}、阪本 雄一郎¹

¹佐賀大学医学部附属病院 医療安全管理室、²佐賀大学医学部附属病院 看護部、

³佐賀大学医学部附属病院 MEセンター

16:00~17:00 一般演題(口演) 16 研究発表

座長：中山 典幸(群馬大学医学部附属病院 薬剤部)

リスク・マネジメント (4)

0-16-1 パンデミックなどの緊急的な状況における薬事行政と市民のリスクコミュニケーションに向けたアンケート調査続報 ～保育園・学校・職場からの情報提供の有用性検討～

○北村 温美¹、佐藤 仁²、中村 京太²、安部 猛³、中島 和江¹

¹大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部、²横浜市立大学附属市民総合医療センター、

³福島県立医科大学 総合科学教育研究センター

0-16-2 手術室看護師が医師との間で認識するコンフリクト ーコンフリクト対処行動の傾向に焦点をあててー

○池辺 恵¹、上條 優子²

¹横浜栄共済病院、²関東学院大学 看護学部

0-16-3 薬剤投与情報の自動入力による薬剤更新業務にかかる時間短縮効果

○伊藤 彰仁¹、岸本 和昌²、山本 豪志朗³、江木 盛時¹、黒田 知宏²

¹京都大学医学部附属病院 麻酔科、²京都大学医学部附属病院 医療情報企画部、

³京都大学医学部附属病院 先制医療・生活習慣病研究センター

0-16-4 ビーフリッド[®] 輸液の未開通インシデント要因分析とその対策

○井出 貴之、熊崎 康介、牧田 ゆかり、増田 雄一

信州大学医学部附属病院 医療安全管理室

0-16-5 入院中に看護師が内服自己管理に移行するための要因

○濱崎 貴則¹、和田 一希¹、高橋 知瑛¹、本田 晃子¹、小岡 亜希子²

¹愛媛大学医学部附属病院、²愛媛大学大学院医学系研究科看護学専攻

0-16-6 血管内投与の造影剤によるアレルギー・アナフィラキシー43死亡事例の分析 ～患者安全推進の立場よりの検討～

○喜田 裕也

光生病院 内科

17:10~18:10 ワークショップ 2

探求アプローチのすすめ ー前向きなインシデントレポートの活用ー

講師：長谷川 剛(泉大津急性期メディカルセンター)

第11会場

京都市勧業館みやこめッセ B1F 大会議室

9:00～9:50 一般演題(口演) 17 活動報告

座長：安宅 一晃（奈良県総合医療センター 救急・集中治療センター）

急変対応・RRS (1)

0-17-1 A病院のRRS要請の現状と課題

～NEWSスコア中・高リスク判定で要請不要と判断した理由からの考察～

○太田 絢、早坂 瑞樹、今野 亜希子、鎌田 美穂、岡本 千秋、石岡 明子
北海道大学病院 看護部

0-17-2 がん専門病院におけるRapid Response System(RRS)導入の取り組み

○藤田 直子、藤 賢史、高野 豪、勝田 朋子、益田 宗幸
独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 医療安全管理室

0-17-3 RRSの適切な要請に向けた現状把握 ～入院患者のNEWSスコアの実態～

○鎌田 美穂、今野 亜希子、早坂 瑞樹、太田 絢、岡本 千秋、石岡 明子
北海道大学病院 看護部

0-17-4 透析室スタッフへの緊急時対応の取り組み

○坂野 梨絵、楠本 記也、木下 祐輔
福岡徳洲会病院 臨床工学科

0-17-5 RRS報告の電子化によるタイムリーな検証とRRS発動への教育と環境を整備しシステムの定着を図る

○三枝 典子¹、藤塚 健次²、増田 衛³、高寺 由美子⁴、藤生 裕紀子⁵、萩原 ひろみ⁴、
新井 智和⁶、松尾 康滋¹¹前橋赤十字病院 医療安全推進室、²前橋赤十字病院 救急科・集中治療科、³前橋赤十字病院 麻酔科、⁴前橋赤十字病院 高度救命救急センター ICU、⁵前橋赤十字病院 高度救命救急センター外来、⁶前橋赤十字病院 医療安全管理課

10:00～11:00 一般演題(口演) 18 活動報告

座長：小池 大助（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

急変対応・RRS (2)

0-18-1 小児病院の院内における成人の体調不良時の診療の実情

○早野 駿佑^{1,2}、利根澤 慧^{1,2}、濱本 学^{1,2}、谷 昌憲^{1,2}、小久保 智寿子^{2,3}、細井 千晴^{2,3}、
根岸 歳美^{2,4}、岡本 友美^{2,4}、新津 健裕^{1,2}、植田 育也^{1,2}¹埼玉県立小児医療センター 小児救命救急センター、²埼玉県立小児医療センター RRSワーキンググループ、³埼玉県立小児医療センター 看護部、⁴埼玉県立小児医療センター 医療安全管理室

0-18-2 Rapid Response Systemの成功事例に基づく成長支援型フィードバックの効果

○田中 千晶¹、高林 拓也¹、森 一直¹、奥村 将年²¹愛知医科大学病院 NP部、²愛知医科大学病院 医療安全管理室

0-18-3 当院における医療安全向上を目指した緊急コール事案の多職種検討体制の構築

○森中 尚子、大島 木綿子、境田 智子、宮本 晋治、山下 大輔、北島 ちひろ、立津 央、
近本 亮

熊本大学病院

0-18-4 消化器内科病棟におけるRRT要請の現状と今後の課題

○岡田 瑞恵、佐藤 かおり、吉原 千恵、森安 恵実
北里大学病院 看護部

0-18-5 病棟ラウンド方式によるRRS運用の経験

○矢嶋 恵理¹、高原 有貴²、関 昌代²、園田 光佑²、牧田 ゆかり³、熊崎 康介³、増田 雄一³¹信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター、²信州大学医学部附属病院 集中治療部、³信州大学医学部附属病院 医療安全管理室

0-18-6 循環器専門病院における小児RRSの導入とシステム向上への取り組み

○正谷 憲宏^{1,2}、増子 麻里子^{2,3}、佐々木 京子^{2,4}、小森 悠矢^{2,5}、松村 雄^{2,6}、清水 淳^{2,7}¹公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 集中治療科、²公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 小児RRSワーキンググループ、³公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 看護部、⁴公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 医療の質・安全管理部、⁵公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 小児心臓血管外科、⁶公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 小児循環器内科、⁷公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 麻酔科

11:10~12:10 一般演題(口演) 19 活動報告

座長：工藤 篤(東京科学大学大学院 医療安全管理学分野)

医療の質(2)

0-19-1 当院におけるICU診療の標準化への取り組み～「ひし形」構造の活用～

○桂 欣宏¹、瀬尾 龍太郎²、美馬 裕之¹¹神戸市立医療センター中央市民病院 麻酔科・集中治療部、²神戸市立医療センター中央市民病院 救命救急センター

0-19-2 口頭指示によるインシデント事象からみた口頭指示書の改訂

○杉山 希、藤田 和彦、高橋 真紀子

順天堂大学医学部附属静岡病院

0-19-3 急性期病院における眠りスキンの活用に向けた実践報告

○岸野 亜矢、今井 由香、村野 裕子、館脇 美由紀

公立大学法人横浜市立大学附属病院 看護部

0-19-4 「救急外来での脳梗塞見逃し撲滅」に向けた取り組みの成果報告

○島戸 真司¹、岡田 禎人¹、倉橋 敦子¹、若宮 都子¹、平松 真理子²、梅基 一夫²、栗原 健²、長尾 能雅²¹知多半島総合医療センター 医療安全管理室、²名古屋大学医学部附属病院 CQSO プロジェクト

0-19-5 当院での院内発症脳卒中対応体制の整備(iSAS)と、その効果について

○青江 基、長尾 宗位、葉佐 真紀子、高橋 悠、田中 則光、出口 等史、和田 小百合、

川田 彩加、高口 浩一

香川県立中央病院

0-19-6 必要時指示の統一による不眠・不穏対応の質向上と職種間支援の両立
～不眠・不穏時必要時指示の標準化がもたらす医師・看護師支援と医療の質向上～○宮本 直武^{1,2,3}、濱田 修^{2,4}、藤川 有紀子^{2,5}、春名 進之介^{2,5}、菊地 希代司^{2,6}、岡村 弥^{2,7}、中島 弘満^{1,2}、佐藤 貴幸^{2,8}、三浦 里鹿^{2,9}、佐藤 孝一^{2,10}、田上 泰成^{2,11}¹士別市立病院 診療技術部診療放射線科、²士別市立病院 医療安全管理室、³北海道科学大学 保健医療学研究科 医療技術学専攻修、⁴士別市立病院 医局、⁵士別市立病院 看護部、⁶士別市立病院 薬局薬剤科、⁷士別市立病院 診療技術部医療機器管理科、⁸士別市立病院 診療技術部内視鏡技術科、⁹士別市立病院 診療技術部リハビリテーション科、¹⁰士別市立病院 診療技術部臨床検査科、¹¹士別市立病院 経営管理部医事課

12:30~13:20 教育セミナー 7

座長：友金 幹視(京都第二赤十字病院 薬剤部)

職域における慢性頭痛を再考する

1 職域における慢性頭痛の現状と課題について：治療と仕事の両立支援の立場から

○阪上 優

京都大学 環境安全保健機構 産業厚生部門／京都大学大学院医学研究科 産業厚生医学

2 慢性頭痛概念と治療の変化：医療従事者の安全・安心は患者の安全

○島 淳

京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 近未来システム・技術創造部門／
京都大学医学部附属病院 脳神経内科

共催：第一三共株式会社

13:40～14:40 一般演題（口演）20 活動報告

座長：鈴木 明（浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室）

処置・手技・手術

0-20-1 処置・検査時の鎮静ワーキンググループの活動報告

○西條 文人^{1,3}、勝田 賢^{2,3}、小林 洋子^{1,3}、菊池 智子^{1,3}、坂本 千尋^{1,3}、松浦 正樹^{1,3}、
田畑 雅央^{1,3}¹東北大学病院 医療安全推進室、²東北大学病院 高度救命救急センター、³東北大学病院 鎮静ワーキンググループ

0-20-2 多職種連携による深鎮静アブレーション導入と行動変容の促進

○小川 孝二郎、茂木 芳賢、平井 理心、山中 陽平、遠藤 貴子、山田 緑、渡邊 一義、
中澤 健介、明石 義正、和田 哲郎

筑波大学附属病院 医療安全管理部

0-20-3 内視鏡的胆管膵管胆道造影における安全な治療環境の構築
ーバイタルサイン共有タイミングの設定による効果ー○大屋 真由¹、青山 華奈¹、佐野 克明¹、山田 智恵¹、宮下 照美²、山上 潤一²、進藤 竜太²¹藤田医科大学病院 看護部、²藤田医科大学病院 医療の質管理室

0-20-4 血液浄化センターにおけるタイムアウト導入による効果

○谷 亮太¹、兵藤 好行¹、沖島 正幸¹、酒出 篤弥¹、近藤 浩史¹、佐野 公俊¹、松田 奈美²、
本田 汐理²¹JA愛知厚生連 豊田厚生病院 臨床工学室、²JA愛知厚生連 豊田厚生病院 看護部 血液浄化センター

0-20-5 ミッドラインカテーテルの誤認防止と院内ルールの構築

○吉村 麻里子¹、中山 賢人²、江本 晶子¹、川添 都^{1,3}、広橋 紀子^{1,3}、水田 貴久美³、
山下 佳雄^{1,4}、阪本 雄一郎^{1,2}¹佐賀大学医学部附属病院 医療安全管理室、²佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター、³佐賀大学医学部附属病院 看護部、⁴佐賀大学医学部附属病院 MEセンター

0-20-6 病室透析における当院の安全対策の取り組み

○鈴木 万恭子^{1,4}、花房 規男²、平野 一²、伊藤 憲¹、堀元 ひろみ³、山崎 かおり^{3,5}、
松村 剛毅⁴、清水 優子⁴、世川 修⁴、西村 勝治¹¹東京女子医科大学病院 臨床工学部、²東京女子医科大学病院 血液浄化療法科、³東京女子医科大学病院 看護部、⁴東京女子医科大学病院 医療安全科、⁵東京女子医科大学病院 医療安全推進部

14:50～15:50 一般演題（口演）21 活動報告

座長：曾和 鮎美（伊丹恒生脳神経外科病院 薬剤部）

医薬品（3）

0-21-1 睡眠薬フォーミュラ導入が睡眠薬処方と転倒・転落率に与えた影響に関する
実態調査○増田 雅也^{1,2}、上葛 義浩¹、上原 悦子²、林 千寿子²、早川 基治²、林 正道²、山田 成樹¹¹藤田医科大学岡崎医療センター 薬剤部、²藤田医科大学岡崎医療センター 安全管理部

0-21-2 A病院におけるPCSK9阻害薬導入のためのシステム構築

○榛葉 恵¹、晴山 信子¹、マレン 真理子¹、加川 陽子¹、萩谷 健一²、七里 守^{2,3}、池亀 俊美^{1,3}¹榊原記念病院 看護部、²榊原記念病院 循環器内科、³榊原記念病院 医療の質安全管理部

0-21-3 オゼンピック®皮下注2mgの適正使用に向けた取り組み

○小杉 正生、新納 直毅、飛知和 まり子、二渡 良昭、小松 加奈
加治木温泉病院 薬局

0-21-4 周術期抗血栓薬管理の質を高めるプロトコル運用の構築とその効果

○小出 昌秋¹、浜野 孝¹、鈴木 美由紀¹、堤 克成²、吉村 彩音³、大木島 尚弘¹、秋田 武宏¹、矢部 勝茂²

¹聖隷浜松病院 安全管理室、²聖隷浜松病院 薬剤部、³聖隷浜松病院 入退院支援室

0-21-5 当院入退院支援センターにおける薬剤情報取得の現状と今後

○石井 健¹、伊藤 洋子²、上野 容子²

¹国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 品質管理室／集中治療科、²入退院支援センター／看護部

0-21-6 経口抗血栓薬の休薬／再開忘れによる重大事例ゼロを目指して
～休薬・再開の説明同意書とてびきの普及活動報告～

○西平 淳子¹、外間 登¹、吉原 昌志¹、阿嘉 直美¹、佐久間 博明¹、加治木 選江²、垣花 学¹

¹琉球大学病院 医療の質・安全管理部 患者安全推進室、²おもと会統括本部 安全感染対策室

16:00～17:00 一般演題（口演）22 活動報告

座長：和佐 勝史（滋慶医療科学大学大学院）

医療の質（3）

0-22-1 誤嚥・窒息予防の標準化に向けた取り組み

○笠松 奈津子¹、檜村 暢一¹、奈良 理¹、東谷 朗子²、相澤 加奈²、葛西 陽子²、茂庭 仁人³

¹手稲溪仁会病院 医療安全管理室、²手稲溪仁会病院 看護部、³手稲溪仁会病院 診療部

0-22-2 入院時誤嚥・窒息リスク患者の抽出のためのアセスメントシート、誤嚥窒息注意喚起ピクトグラムの作成・導入した取り組み

○西村 愛璃、榊原 理恵

日本赤十字社成田赤十字病院

0-22-3 口頭説明によるウイルス性肝炎陽性者の受診促進効果

○赤城 香¹、大内 道子¹、大岩 喜恵¹、吉本 尚子²、小林 義和¹、畔柳 信吾³、牧野 光恭¹

¹公立西知多総合病院 医療品質管理センター 医療安全管理室、²公立西知多総合病院 臨床検査科、³碧南市民病院 医療安全管理室

0-22-4 FMEAを用いたリスクマネジメント実践
－患者への安全な食事介助に焦点を当てて－

○高橋 静子¹、石川 千沙²、横山 亜希子¹、長谷川 麗子¹、小宮 顕¹、鈴木 信哉¹

¹医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 医療安全管理室、²医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 看護部

0-22-5 当院におけるHBV再活性化防止対策への取り組みと評価

○若杉 陽子^{1,2,6}、田中 正剛^{2,3}、小川 栄一^{2,4}、高田 敦史^{2,7}、木下 美沙^{2,5}、合谷 孟³、井本 効志³、内田 まやこ⁶、後 信^{1,2}

¹九州大学病院 医療安全管理部、²九州大学病院 再活性化B型肝炎発生予防ワーキンググループ、

³九州大学病院 肝臓・膵臓・胆道内科、⁴九州大学病院 総合診療科、⁵九州大学病院 検査部、

⁶九州大学病院 薬剤部、⁷九州大学病院 メディカル・インフォメーションセンター

0-22-6 咀嚼・嚥下機能が低下した患者に対するパン提供制限の取り組みとその効果

○仙波 亘策¹、安部 静子¹、三宅 清美¹、竹下 智美¹、松本 紘幸¹、後藤 芳美²、平松 和史¹

¹大分大学医学部附属病院 医療安全管理部、²大分大学医学部附属病院 医療情報部

17:10~18:10 一般演題(口演) 23 活動報告

座長：戸田 満秋(滋慶医療科学大学 医療科学部／大学院医療管理学研究科)

医療機器(2)

0-23-1 臨床工学技士不在病院における医療機器管理代行サービスの事業展開

○中村 隆志
株式会社CE-WORKS

0-23-2 人工呼吸器アクシデントに対する取り組み

○後藤 幸弘
IMS(イムス) グループ横浜新都市脳神経外科病院 臨床工学科

0-23-3 MACTに関する現状報告 ～アラーム疲労対策の再始動に向けて～

○山岸 八重乃¹、大庭 明子¹、亀森 康子¹、竹内 寿里耶²、草浦 理恵²、藤田 英雄³、
齊藤 正昭¹¹自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部医療安全管理室、²自治医科大学附属さいたま医療センター 臨床工学科、³自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器内科

0-23-4 当院人工呼吸器関連インシデント(2023年4月～2025年3月、2年間)

○石井 健¹、谷津 志織²、篠田 奈緒子²、中島 勸²、徳世 良太³、富田 静香⁴、小澤 継史⁴、
早川 桂⁴、小林 由⁴、山口 和将⁴¹国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 品質管理室／集中治療科、²医療安全対策室、³臨床工学科、⁴集中治療科

0-23-5 当センターにおけるMACT立ち上げまでの取り組み

○池上 綾香¹、酒井 明日香¹、古山 義明¹、新津 健裕²、中山 幸子³、岡本 友美⁴、根岸 歳美⁴、
康 勝好⁴¹地方独立行政法人埼玉県立病院機構埼玉県立小児医療センター 臨床工学科、²地方独立行政法人埼玉県立病院機構埼玉県立小児医療センター 集中治療科、³地方独立行政法人埼玉県立病院機構埼玉県立小児医療センター 前医療安全管理者、⁴地方独立行政法人埼玉県立病院機構埼玉県立小児医療センター 医療安全管理室

0-23-6 当院におけるMACTの活動報告 ～モニタ装着離脱基準の作成を含めて～

○庭前 野菊、三枝 典子、境野 如美、有馬 ひとみ
前橋赤十字病院 心臓血管内科

ラーニングスペースセミナー 京都勧業館みやこめっせ 1F ホワイエ

9:30～10:30 ラーニングスペースセミナー 1

ホワイトボード・ミーティング®実践ワークショップ
～会議に変革を！対話を促すファシリテーション実践編～

ホワイトボード・ミーティング®認定講師：深川 良美(京都大学医学部附属病院)

青山 芽久(京都岡本記念病院)

ファシリテーター：内藤 加奈子(京都大学医学部附属病院)

11:10～12:10 ラーニングスペースセミナー 2

報告のコツを教えて！医療事故情報収集等事業

講師：坂口 美佐(日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部)

13:40～14:40 ラーニングスペースセミナー 3

ミゼアセーフ使用定着までのプロセスとその結果

講師：鮫島 瑠美(医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 看護部長室)

共催：株式会社ニトムズ

16:00～17:00 ラーニングスペースセミナー 4

ミゼアセーフX導入による効果-自己抜去・スキンテア予防の観点から-

講師：岡田 依子(社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 医療安全管理室)

共催：株式会社ニトムズ

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第2商談室

講師：平松 真理子(慶應義塾大学病院 医療安全管理部)

講師：綿貫 聡(医療法人社団おうちの診療所)

交流カフェ

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第3商談室

10:00~11:00 放射線技師カフェ

マスター：小泉 幸司(京都大学病院)
田渕 隆(倉敷中央病院)

14:00~15:00 薬剤師カフェ

マスター：梅村 朋(名古屋大学病院)
山際 岳朗(京都大学病院)
沼田 恵理(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

16:00~17:00 臨床工学技士カフェ

マスター：藤井 耕(京都あすかい病院)
島田 尚哉(東神戸病院)
村木 裕介(シミズ病院)
吉田 久美子(音羽病院)
東辻 保則(大阪ハイテクノロジー専門学校)
松井 豊(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)
丹羽 貴子(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)
岸田 明憲(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)
中道 瑚子(独立行政法人 医薬品医療機器総合機構)

ポスター会場1

京都市勧業館みやこめっせ 1F 第2展示場B+C

17:10~18:00 一般演題（ポスター）1 活動報告

座長：長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院）

安全文化（1）

P-1-1 心理的安全性を職員に浸透させることを目的とした当院の取り組み（第2報）

阿登 大次郎 ほか

地方独立行政法人 市立大津市民病院 リスクマネージャー／地方独立行政法人 市立大津市民病院 医療の質・安全管理室

P-1-2 KYTの多職種展開による当院の安全文化醸成に向けた挑戦

土門 未果 ほか

公立福生病院 医療安全管理部

P-1-3 多職種で行う医療安全相互チェックの成果

小久保 登子 ほか

松坂市民病院 医療安全管理室

P-1-4 安全をつなぐ橋渡し役：セーフティマネージャーの意識と行動の変化

小林 千尋 ほか

愛知医科大学病院 医療安全管理室

P-1-5 医療安全管理者が中心となった分析チームの取り組み

栗林 かほり ほか

伊藤病院 看護部

P-1-6 2024年度に実施した医療安全啓蒙活動の効果評価

今浪 里奈 ほか

小倉記念病院 救急外来

P-1-7 診療経過の評価を目的とした『死亡時チェックシート』の開発と運用の見直し

岡田 みちよ ほか

川崎市立多摩病院

17:10~18:00 一般演題（ポスター）2 活動報告

座長：辰巳 陽一（近畿大学病院 安全管理センター 医療安全対策部）

安全文化（2）

P-2-1 報告行動とインシデントシステムの乖離に着目した改善提案 ～「とりあえず報告」のその先へ～

別所 文彦 ほか

社会医療法人財団池友会 新行橋病院 医療安全管理室

P-2-2 ナッジ理論で考える5S活動

井上 都美子 ほか

公益財団法人健和会 健和会大手町病院 医療安全管理部

P-2-3 病棟の医療安全風土醸成への取り組み ～新人看護師長として考えたこと～

中込 智重子 ほか

地方独立行政法人山梨県立病院機構山梨県立中央病院

P-2-4 インシデント報告に基づく改善実行までの標準化プロセスの構築

橋本 美和 ほか

愛媛大学医学部附属病院 ME機器センター

P-2-5 インシデント報告にポジティブな印象を与える取り組み

富永 滋比古 ほか
聖隷浜松病院 臨床工学室

P-2-6 「日々の気づきから安全を築く」KIZUKIレポートを基盤とした在宅医療安全システム構築への実践的アプローチ

梶屋 絵理子 ほか
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

P-2-7 バブルチャート型Safety Mapによるグッドキャッチ事例の可視化とリスクヘッジ

中村 康彦 ほか
横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部

17:10～18:00 一般演題（ポスター）3 活動報告
安全文化（3）

座長：山口（中上）悦子（国際医療福祉大学）

P-3-1 医療における“Choosing Wisely（賢明な選択）”をめざして
～オンライン・レクチャーを通じた普及・実装活動～

小泉 俊三 ほか
一般財団法人 東光会 総合医学研究所

P-3-2 医療安全文化レベル0からの出発 STEP1 ～医療安全意識向上への挑戦～

渡邊 裕子 ほか
医療法人社団 宗美会 清水駿府病院 医療安全対策室

P-3-3 “部署の壁”を越えて考える医療安全 ―医療技術職による多職種連携の試み―

松川 訓久 ほか
地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター リハビリテーション技術科／医療安全管理センター

P-3-4 委託業務（清掃・ベッドメイキング）における院内満足度調査結果を通じて

小田 慶治
学校法人慈恵大学法人事務局財務部施設課整備係

P-3-5 「山梨OQT医療安全eラーニング」の拡充

奥津 康祐 ほか
山梨OQT／国際医療福祉大学

P-3-6 千葉県立病院における医療安全管理体制の確立に向けた取り組み
―医療安全監査委員会を設置して8年の活動報告―

坂 学 ほか
千葉県病院局

P-3-7 岡山県内の医療安全管理者への情報交換提供の要となる医療安全管理者ネットワークの取り組み

中西 慶治 ほか
岡山県看護協会 医療・看護安全対策委員会／岡山労災病院 医療安全管理室

P-3-8 物語による学習効果を意識した周術期疼痛ケアのアニメーション教材の開発

奥津 康祐 ほか
山梨OQT／国際医療福祉大学

17:10～18:00 一般演題（ポスター）4 活動報告
リスクマネジメント（1）

座長：徳嶺 譲芳（杏林大学医学部麻酔科学教室）

- P-4-1 一急性期病院での中心静脈穿刺安全体制の活動報告**
篠村 徹太郎 ほか
大津赤十字病院 医療安全推進室
- P-4-2 大腿動静脈穿刺後の安静解除時間統一に向けたプロトコル整備とその効果**
大貫 明子 ほか
公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 看護部
- P-4-3 九州大学病院歯科部門の抜歯部位誤認予防のフローチャート作成の取り組み**
山添 淳一 ほか
九州大学病院 高齢者歯科・全身管理歯科／九州大学病院 医療安全管理部
- P-4-4 東北大学病院における医科歯科連携による歯牙等損傷防止マニュアル作成**
小林 洋子 ほか
東北大学病院 歯科医療管理部／東北大学病院 医療安全推進室
- P-4-5 静脈血栓塞栓症予防対策の効果**
佐々木 陽子 ほか
岩手医科大学附属病院 医療安全管理部
- P-4-6 手術部危機的出血時対応の課題への取り組み**
貝塚 聖子 ほか
川崎市立多摩病院 指定管理者 学校法人聖マリアンナ医科大学
- P-4-7 橈骨動脈アプローチカテーテル検査止血用器具を全病棟へ導入するための取り組み
～安全に導入・運用するための工夫と関わり～**
小嶋 友城 ほか
福井大学医学部附属病院 南3階病棟

17:10～18:00 一般演題（ポスター）5 活動報告
リスクマネジメント（2）

座長：新村 美佐香（菊名記念病院）

- P-5-1 処置・検査時に鎮静剤を用いる際の手順（小児版）の作成**
高橋 正也 ほか
大阪公立大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部
- P-5-2 トヨタ式問題解決を医療安全活動に ～義歯紛失ゼロに～**
上路 麻美 ほか
新百合ヶ丘総合病院 医療安全管理室
- P-5-3 検査や処置における鎮静の安全な実施に向けて**
大石 裕子 ほか
群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部
- P-5-4 電子カルテシステムダウンを想定した帳票作成システムの構築と机上訓練の実施**
角田 恭子 ほか
山陰労災病院 診療情報管理室
- P-5-5 病棟におけるインシデントレポートの多角的分析に向けた取り組みと課題**
田井治 肇 ほか
静岡県立静岡がんセンター 9東病棟

P-5-6 全身麻酔導入時の状態変化に対する看護チームの対応のリフレクションから
～タナーの臨床判断モデルを活用して～
佐藤 明美 ほか
地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川県立循環器呼吸器病センター 手術室看護科

P-5-7 ※演題取下げ

17:10～18:00 一般演題（ポスター）6 活動報告 座長：奥村 将年（藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部）
リスクマネジメント（3）

P-6-1 自然抜去を繰り返す膀胱留置カテーテルのインシデント症例の対策について
浅尾 典彦 ほか
社会医療法人 原土井病院

P-6-2 病棟看護師の中心カテーテル早期抜去に向けた取り組み ～不要なカテーテル留置ゼロを目指して～
久保 亜佐子 ほか
公益社団法人日本海員救済会 小樽救済会病院

P-6-3 安全な経鼻栄養チューブ挿入・位置確認の取組みと、今後の課題検討
～6年間のX線226画像、CT63画像の分析～
喜田 裕也
光生病院 内科

P-6-4 気管切開術後、2週間以内の気管カニューレ計画外抜去防止の取り組み
大島 木綿子 ほか
熊本大学病院 医療の質・安全管理部

P-6-5 発達が進む幼児気管切開患者の気管カニューレ計画外抜管防止に向けての検討
澤田 侑希 ほか
旭川医科大学病院 NICU

P-6-6 移乗時のドレーン・チューブの事故抜去と転落を防ぐための取り組み
白砂 麻里 ほか
白根徳洲会病院 医療安全管理室

P-6-7 呼吸回数測定定着に向けた取り組み
土屋 裕子 ほか
東京都立多摩南部地域病院

17:10～18:00 一般演題（ポスター）7 活動報告 座長：鮎澤 純子（九州大学病院）
リスクマネジメント（4）

P-7-1 多職種連携による救急カート改善と安全な運用体制の構築
松本 理恵 ほか
湘南厚木病院 医療安全管理室

P-7-2 食物アレルギー原因食材の提供ゼロを目指した取り組みと今後の展望
富澤 淳 ほか
北里大学病院 医療安全推進室／北里大学病院 薬剤部

P-7-3 食事時の誤嚥窒息事故の件数削減への取り組み ～食事形態カンファレンスの導入～
小川 夏紀 ほか
成田赤十字病院

P-7-4 ICU再入室率低減に向けたICU退室後ラウンドの取り組み

梶総 淳子 ほか
獨協医科大学埼玉医療センター

P-7-5 がん専門病院における安全な造影CT検査実施に向けた取り組み：

アナフィラキシーショックに対する緊急時対応能力向上に向けた多職種合同シミュレーション訓練

久納 良子 ほか
がん研有明病院 看護部

P-7-6 外来化学療法室における円滑なアナフィラキシーショック患者対応を目指した取り組み

西脇 好乃 ほか
名古屋市立大学病院 看護部

P-7-7 他セクションとの連携不足によるインシデントレベル3b以上事例の撲滅

盛田 英司 ほか
埼玉医科大学病院医療安全対策室

17:10～18:00 一般演題（ポスター）8 **活動報告** **座長：宮崎 浩彰（関西医科大学医療安全管理センター）**
リスクマネジメント（5）
P-8-1 新生児治療回復室での火災時の対応 ～緊急トリアージ分類を取り入れて～

鈴木 優華 ほか
旭川医科大学病院 看護部4階ナースステーションGCU

P-8-2 簡単にわかりやすい疼痛評価を目指して ～疼痛評価を適切に入力し多職種間で情報共有するために～

蜷川 満里奈 ほか
医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 看護部

P-8-3 放射線性皮膚炎に対する多職種アプローチによるケアとその成果

大倉 正樹 ほか
松阪市民病院 放射線室

P-8-4 対応遅延ゼロを目指した産科危機的出血フローの見直しと現場浸透への取り組み

川嶋 昌美 ほか
昭和医科大学助産学専攻科

P-8-5 救急カートの封印シール導入への取り組み

高橋 紀子 ほか
桐生厚生総合病院

P-8-6 一般病棟入院中に発生した敗血症の診断・治療遅れによる死亡をゼロにするための取り組み

増田 雄一 ほか
信州大学医学部附属病院 医療安全管理室／名古屋大学医学部附属病院 CQSOプロジェクト

P-8-7 ※演題取下げ

17:10～18:00 一般演題（ポスター）9 **活動報告** **座長：寺井 美峰子（医学研究所北野病院）**
リスクマネジメント（6）
P-9-1 内服インシデントの減少を目指した配薬ファイルの改善取り組み

坂本 宏子 ほか
独立行政法人労働者健康安全機構 北海道中央労災病院

P-9-2 ※演題取下げ

- P-9-3 病棟におけるラプス低減に向けたデジタルサイネージ活用の試み**
田邊 直人 ほか
NTT 東日本関東病院 医療安全管理室
- P-9-4 A病院の一般外来トリアージシステム構築プロジェクト活動報告（第2報）**
谷 幸一 ほか
北里大学病院 看護部
- P-9-5 NPPVでCT室搬送中に酸素ボンベ残量がなくなった事例と対策**
文字 香織 ほか
三菱京都病院
- P-9-6 院内スキンテア発生予防に対する取り組み ～リスクマネージャーによる実態調査と対策の結果～**
津田 さゆり ほか
地方独立法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
- P-9-7 認知症合併糖尿病患者への週1回持続型インスリンイコデク導入に際し、多職種連携の実施にて低血糖を回避し、治療効果も得られた一例**
糸島 恵 ほか
康生会武田病院 薬局

17:10～18:00 一般演題（ポスター）10 活動報告

座長：北村 温美（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部）

患者中心の医療

- P-10-1 当院におけるインフォームドコンセント取得時のテンプレート使用推進の試み**
小池 勤 ほか
富山大学附属病院 医療の質推進部
- P-10-2 当院におけるインフォームド・コンセントへの同席率向上への取り組み**
石川 浩史 ほか
神奈川県立こども医療センター 副院長／同 医療安全推進部
- P-10-3 骨粗鬆症リエゾンサービスにおける医師・看護師への教育の工夫 同意書・パスの有効活用**
勝山 詠理
東京都済生会中央病院 整形外科／骨粗鬆症リエゾンサービス委員会
- P-10-4 がんの親をもつ子どもへの病状説明を多職種で検討した一症例**
脇谷 美由紀 ほか
昭和医科大学保健医療学部／昭和医科大学横浜市北部病院
- P-10-5 高齢化地域におけるDNAR（Do Not Attempt Resuscitation）指示の標準化と職員間の連携の取り組み**
川由 京子 ほか
鳥根県済生会江津総合病院
- P-10-6 人生の最終段階における意思決定支援にかかる指針・重篤な病を持つ患者のコードステータス対応の方針策定について**
中澤 健介 ほか
筑波大学附属病院 医療安全管理部／筑波大学附属病院 呼吸器内科
- P-10-7 リストバンド装着率上昇を目指して**
滝原 悠太 ほか
神奈川県立こども医療センター 医療安全推進部

17:10～18:00 一般演題（ポスター）11 活動報告 座長：平松 真理子（慶應義塾大学病院）
教育（1）

- P-11-1 医学部医学科1年次学生に対する患者安全教育の効果と学生の認識**
田畑 雅央 ほか
東北大学病院 医療安全推進室
- P-11-2 健康科学大学看護学部における医療安全ゼミの活動
～インシデント事例の分析および共有を通じた学びと今後の課題～**
宮原 祥暢 ほか
健康科学大学看護学部看護学科
- P-11-3 初期臨床研修医のインシデントレポートから事例の発生要因とその対策について検討することで、医療安全に配慮したシステムづくりを目指す**
三宅 未紗 ほか
藤田医科大学ばんだね病院 小児科
- P-11-4 研修医へのインシデントレポートに関する安全教育**
楯野 良知 ほか
加賀市医療センター 医療安全管理室／同 整形外科
- P-11-5 病院新棟におけるシミュレーション訓練を通じたキャパシティ向上の試み**
新開 裕幸 ほか
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部
- P-11-6 A病院の針刺し事象に対する継続教育の効果**
香川 彰子 ほか
社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 医療安全対策室
- P-11-7 医療安全の実践力を向上するための新任・若手職員に対する医療安全教育の試み
～当院薬剤部卒後臨床研修プログラムの一環として～**
増江 俊子 ほか
金沢大学附属病院 薬剤部

17:10～18:00 一般演題（ポスター）12 活動報告 座長：笠原 聡子（滋賀医科大学医学部看護学科）
安全なケア

- P-12-1 心不全療養指導士による心不全看護外来の活動の一報告**
池田 沙耶香 ほか
医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院
- P-12-2 ※演題取下げ**
- P-12-3 感染リンクスタッフのグループワークの効果 ～課題解決と学びへの影響～**
柿元 良一
社会医療法人恒心会 恒心会おぐら病院
- P-12-4 安全な内視鏡看護を提供するために ～病棟と内視鏡室看護師の交換研修～**
加治佐 知紗 ほか
医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 看護部
- P-12-5 患者の活動を評価するモビリティスケール導入の試み**
保木本 崇弘 ほか
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター リハビリテーション科

P-12-6 小児集中治療室において看護師が早期リハビリテーションを安全に継続して行う為の取り組みに関する活動報告一石 亜美 ほか
筑波大学附属病院 看護部**P-12-7 病棟看護師のエンゲージメントを高めるための取り組みの効果と結果**大野 浩正 ほか
社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 座間総合病院**17:10～18:00 一般演題（ポスター）13 活動報告**

座長：小松 康宏（板橋中央総合病院）

医療の質**P-13-1 医療情報機器安全管理についてコストと実効性に配慮した取り組みの評価**太田原 顕 ほか
山陰労災病院**P-13-2 医療安全業務改善報告書の形骸化を防ぎ、持続的な改善活動の定着と部署と医療の質・安全管理部の結びつき向上を目指す**大内 邦枝 ほか
千葉県がんセンター 医療の質・安全管理部**P-13-3 肺血栓塞栓症リスク評価の電子化による運用改善と今後の課題**山口 裕一 ほか
刈谷豊田総合病院 安全環境管理室／刈谷豊田総合病院 リハビリテーション科**P-13-4 診療看護師によるPICC挿入の実績分析：導入2年間の臨床効果と業務負担軽減の評価**中村 晃子 ほか
TMGあさか医療センター 看護部**P-13-5 HCUにおける医療安全責任者主導の体制整備とICU・一般病棟の安全な架け橋としての機能構築**齊藤 正昭 ほか
自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全管理室**P-13-6 当院における再入院を繰り返す患者の実態把握**久保 和彦 ほか
千鳥橋病院 クオリティマネジメントセンター**P-13-7 グループ病院全体の医療安全管理 ～業務改善報告の運用開始1年の現状と課題～**黒川 美知代 ほか
日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部**17:10～18:00 一般演題（ポスター）14 活動報告**

座長：原田 賢治（東京農工大学 保健管理センター）

医薬品（1）**P-14-1 脂肪乳剤投与の安全管理強化に向けた処方セット導入の成果**高井 宏幸 ほか
医療法人徳洲会 湘南厚木病院 薬剤部**P-14-2 高濃度カリウム製剤の安全な使用に向けたマニュアル導入の有効性評価**柴田 かおり ほか
京都府立医科大学附属病院 薬剤部／京都府立医科大学附属病院 医療安全推進部**P-14-3 これなら使える！シン・ハイリスク薬マニュアル**内村 恭子 ほか
京都市立病院 薬剤部

P-14-4 多職種チームによる、免疫チェックポイント阻害剤副作用マネジメントシステムの構築

尾関 和貴 ほか
JA愛知厚生連江南厚生病院 血液・腫瘍内科

P-14-5 透析洗浄剤の混入防止に対する当院の取り組み

吾郷 偉吹 ほか
医療法人徳洲会湘南厚木病院

P-14-6 フェンタニル注射剤の供給不足に対する当院の取り組み

内田 夕喜 ほか
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室

P-14-7 当院薬剤部における未承認新規医薬品等評価に関する取り組み

川邊 一寛 ほか
横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部

17:10~18:00 一般演題（ポスター）15 **活動報告**
医薬品 (2)

座長：曾和 鮎美（伊丹恒生脳神経外科病院 薬剤部）

P-15-1 精神病院における定時与薬手順の再構築とエラー低減への取り組み

西島 憲一 ほか
地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター

P-15-2 高リスク薬剤に対する検査値照合の標準化と医療DX実装に向けたシステム導入の試行

梶田 貴司 ほか
（公財）天理よろづ相談所病院 医療安全管理室／薬剤部

P-15-3 術前休薬エラーを撲滅するための介入とその成果

古谷 健太 ほか
新潟大学医歯学総合病院 医療安全管理部

P-15-4 入院中の内服薬誤投薬に対する品質管理手法を用いた対応の効果

今井 元 ほか
小牧市民病院 医療の質・安全管理室／名古屋大学医学部附属病院 CQSO プロジェクト

P-15-5 疑義照会データを活用したインシデント報告への取り組みとその効果

監物 英男 ほか
川崎医科大学総合医療センター 薬剤部

P-15-6 内服薬誤投与による患者への有害事象（患者影響度レベル2以上）をゼロにする

浦崎 圭太 ほか
JCHO中京病院 薬剤部／JCHO中京病院 医療安全管理室／名古屋大学医学部附属病院 EQSO/AQSO プロジェクト

P-15-7 薬剤に関するインシデントの分析と薬剤情報に対する院内認識度調査

那須村 久恵 ほか
熊本託麻台リハビリテーション病院 医療技術部 薬剤科

17:10~18:00 一般演題（ポスター）16 **活動報告**
医薬品 (3)

座長：大石 雅子（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻）

P-16-1 「看護師管理の配薬間違いゼロ」を目指した取り組み

舟橋 美紀 ほか
堺市立総合医療センター 6西病棟

- P-16-2 与薬原則6Rの周知に向けた取り組み**
井上 由実子 ほか
医療法人社団 誠馨会 新東京病院 看護部
- P-16-3 意識せよ！与薬の6Rと点滴中の確認行動 ～与薬のインシデント減少への取り組み～**
吉竹 純子 ほか
大阪南医療センター 看護部 西館3階
- P-16-4 安全な内服指示書の運用 ～円滑な業務に向けたマニュアル作成～**
佐藤 宰 ほか
成田赤十字病院 消化器内科／外科
- P-16-5 患者参画型内服ダブルチェックの導入による看護師の意識と患者の服薬コンプライアンスへの影響**
前原 由佳 ほか
熊本大学病院
- P-16-6 退院・受診時における「渡し忘れ」の実態調査 —処方薬・医療材料の「渡し忘れ」を中心に—**
玄海 泰子 ほか
北里大学病院 医療安全推進室／北里大学病院 看護部
- P-16-7 内服薬与薬直前の患者誤認防止への取組**
鈴木 秀明 ほか
刈谷豊田総合病院 安全環境管理室

17:10～18:00 一般演題（ポスター）17 活動報告 座長：杉山 良子（パラマウントベッド株式会社）
転倒・転落（1）

- P-17-1 分析ツールを活用したカンファレンスと転倒転落予防器具選択フローチャートによる転倒転落予防への取り組み**
飯田 紀代子
成田赤十字病院 看護部
- P-17-2 回復期リハビリテーション病棟における転倒発生状況の分析 —1年間の転倒事例から見えた課題—**
長尾 雄太
医療法人社団 協友会 横浜鶴見リハビリテーション病院
- P-17-3 AI搭載転倒検知システム「まもあい」の導入経験**
本間 久統 ほか
医療法人徳洲会 庄内余目病院 医療安全管理室
- P-17-4 転倒転落発生率低減に向けたチーム医療での取り組み**
加藤 亜理沙 ほか
トヨタ記念病院 6C病棟
- P-17-5 転倒予防カンファレンスの有効性について ～私たちの努力は転倒数を減らせるのか！？～**
村山 優花 ほか
松下記念病院 看護部
- P-17-6 現状把握から取り組む転倒転落対策の実践報告 ～物的対策を行う上での現状と課題～**
大久保 勇紀 ほか
医療法人社団愛友会伊奈病院 医療技術部リハビリテーション技術科
- P-17-7 転倒転落は起こることを前提とした傷害防止に向けた取り組み**
富石 香代子 ほか
愛知医科大学病院 看護部

17:10～18:00 一般演題（ポスター）18 活動報告

座長：川崎 悦子（公益財団法人日本医療機能評価機構）

転倒・転落（2）

P-18-1 転倒事例から分析したアセスメントフローの作成

野村 小夜子 ほか
羽島市民病院 医療安全推進室 医療安全管理者／羽島市民病院 看護部

P-18-2 転倒・転落有害事象軽減対策の整備 ―2025年1月発生事案を受けて進めたこと―

戸塚 雄介 ほか
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室

P-18-3 転倒・転落対応における記録記載率の向上とリスク評価の適切性改善への取り組み

熊崎 康介 ほか
信州大学医学部附属病院 医療安全管理室

P-18-4 整形外科・リハビリテーション科病棟における転倒・転落予防を目指したベッドサイドカンファレンスの導入

谷口 希望 ほか
福井大学医学部附属病院

P-18-5 損傷レベル4以上の転倒・転落事例に対する4M5E分析による要因抽出と再発防止への取り組み

山西 やよい ほか
刈谷豊田総合病院

P-18-6 高齢者施設における転倒・転落関連のインシデント報告 ―4年間の変化―

西村 智江 ほか
おもと会統括本部 安全感染管理室

P-18-7 入院患者の転倒・転落後における重症頭部外傷の早期発見と見逃し防止を目的とした対応プロトコルの開発と導入効果

宮本 直武 ほか
土別市立病院 診療技術部診療放射線科／土別市立病院 医療安全管理室／
北海道科学大学 保健医療学研究科 医療技術学専攻修

17:10～18:00 一般演題（ポスター）19 活動報告

座長：遠田 光子（公益社団法人日本医療機能評価機構 教育研修事業部）

転倒・転落（3）・食事

P-19-1 リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算を算定できる体制は入院関連機能障害の発生を減減する

後藤 啓士郎 ほか
社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 リハビリテーション部／
社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院 TQM部品質管理室

P-19-2 当院におけるリハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算を活用した管理栄養士の役割

上園 美穂 ほか
社会医療法人 恒心会 恒心会おぐら病院 栄養管理部

P-19-3 当院における入院患者の食事安全の取り組み

橋本 光宏 ほか
千葉労災病院 医療安全管理部／名古屋大学医学部附属病院 CQSOプロジェクト

P-19-4 食事の美味しさ改善による摂取量の増加と患者満足度の向上への取り組み

皆川 健太 ほか
榊原記念病院 栄養管理科

P-19-5 転倒予防への患者参加推進を目的とした、動画を介した運用改善

勝亦 秀樹 ほか
横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部

P-19-6 転倒・転落予防のための患者指導用動画作成と活用

菊池 智子 ほか
東北大学病院 医療安全推進室

**P-19-7 「転倒・転落を防ぐための質問票・転倒転落防止パンフレット」を活用した転倒・転落予防策の推進
—患者と家族が転倒・転落リスクと予防策を理解するための取り組み—**

石田 裕美子 ほか
社会福祉法人北海道社会事業協会小樽病院

17:10~18:00 一般演題（ポスター）20 活動報告

座長：亀森 康子（自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部）

誤認防止

P-20-1 携帯情報端末を用いた患者照合率向上による検体採取時の患者誤認防止への取り組み

高田 左代美 ほか
倉敷中央病院 看護管理部／倉敷中央病院 患者安全リスク対策グループ

P-20-2 浜松医科大学医学部附属病院のCART療法におけるラベル認証の運用

伊藤 琢真 ほか
浜松医科大学医学部附属病院 医療機器管理部

P-20-3 外来化学療法センターにおけるリストバンド導入による患者誤認防止の取り組み

大塚 鈴音 ほか
群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部／群馬大学医学部附属病院 薬剤部

P-20-4 患者確認における誤認識を改めるための取り組み（第1報）

小谷 恭平 ほか
千葉県がんセンター 医療の質・安全管理部

P-20-5 安全な術前確認と手術室への引継ぎを目指して ～患者との協働を目指した入室時チェックリストの改定～

田村 宏美 ほか
東京慈恵医科大学葛飾医療センター 看護部

P-20-6 患者間違い事例の分析と直接患者に確認できる場面での患者間違い減少へ向けた取り組み

須藤 朗子 ほか
群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部／群馬大学医学部附属病院 看護部

P-20-7 小児医療センターのインシデントレポートを用いた注射薬投与手順に沿った確認照合の現状分析

鯨津 舞子 ほか
東北大学病院小児医療センター

17:10~18:00 一般演題（ポスター）21 活動報告

座長：田淵 隆（公益財団法人倉敷中央病院 医療技術本部）

アラーム疲労

P-21-1 生体情報モニタアラームのナースコール連動実態調査

大平 雅雄 ほか
株式会社ケアコム

P-21-2 病棟モニターのアラーム件数削減への取り組み

辻川 圭亮 ほか
豊田厚生病院 臨床工学室

P-21-3 生体情報モニターを安全に運用するための体制構築とその維持に向けた取り組み

石原 麻美 ほか
大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター

P-21-4 生体情報モニターにおけるアラーム音色の変更が応答率に与える影響

沖島 正幸 ほか
JA 愛知厚生連 豊田厚生病院 臨床工学室

P-21-5 循環器病棟における心電図モニターのテクニカルアラーム低減に向けた試験的運用

上原 久瑠美 ほか
群馬大学医学部附属病院 循環器内科／外科

P-21-6 モニタ適正管理に向けたMACT(monitor alarm control team)活動の評価

杉江 舜 ほか
自治医科大学附属病院 臨床工学部

P-21-7 当院における Monitor Alarm Control Team (MACT) 活動の報告

畑林 絵梨香 ほか
八戸市立市民病院 医療技術局 臨床工学科

17:10～18:00 一般演題（ポスター）22 活動報告
多職種連携

座長：飯田 恵（京都大学医学部附属病院 看護部）

P-22-1 パニック値報告運用変更後の検証および課題

秋田 豊和 ほか
橋本市民病院 診療技術部 臨床検査科

**P-22-2 多職種で取り組む画像診断重要所見に対する確実な患者対応
～診療録監査実施による効果とその作業負担について～**

塚本 啓介 ほか
大阪府済生会中津病院 医療安全対策室

P-22-3 ウイルス性肝炎撲滅に向けた取り組みと肝炎コーディネーターの役割

三苫 朝 ほか
千鳥橋病院 医療安全管理対策委員会

P-22-4 臨床検査におけるパニック値報告への取り組みについて

鈴木 晶子 ほか
桐生厚生総合病院

P-22-5 血液検査のパニック値報告への対応とその確認状況についての解析

小宮 顕 ほか
亀田総合病院 医療安全管理室

P-22-6 多職種による肝炎受診勧奨チームの新たな取り組み ～HCV抗体陽性者を内科受診に繋げる～

真田 美奈 ほか
小樽掖済会病院 医療安全管理部

P-22-7 肝炎受診勧奨への取り組み ～未告知・未治療0を目指して～

桂川 純子 ほか
JA 愛知厚生連海南病院 医療安全管理室

17:10～18:00 一般演題（ポスター）23 活動報告

座長：北村 孝一（大阪公立大学医学部附属病院 医療機器部）

医療機器

P-23-1 多職種連携による電波管理のマネジメント

野川 悟史 ほか

昭和医科大学藤が丘病院 臨床工学室／昭和医科大学大学院保健医療学研究科医療技術分野臨床工学領域

P-23-2 脊髄外科手術におけるナビゲーションシステム導入の経験

竹田 章紀

社会医療法人みゆき会 みゆき会病院 業務課

P-23-3 透析室における塩素ガス発生事故の予防と対策

丸田 拓紀 ほか

一般財団法人 太田綜合病院附属 太田西ノ内病院 ME室

P-23-4 ※演題取下げ

P-23-5 重大事例を教訓としたカテーテル室での医療安全対策の取り組み
～消毒薬使用の適正化と風化を防ぐ安全文化継承の取り組み～

三島 さゆり ほか

公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 看護部

P-23-6 「まずは一歩」生体情報モニタ管理への取り組み

福澤 知子 ほか

聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室

P-23-7 呼吸心拍モニタ関連の不適切な管理による有害事象を撲滅する
(QSOプロジェクトにおける問題解決の取り組み)

一柳 宏 ほか

名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部

17:10～18:00 一般演題（ポスター）24 活動報告

座長：菊地 克彦（地域医療振興協会 東京北医療センター 医療技術部放射線室）

画像検査

P-24-1 放射線部門での多職種連携による急変対応力強化の取り組み

佐々木 祐輔 ほか

岩手医科大学附属病院 中央放射線部

P-24-2 バブルチャート型リスクマップとインシデントKYTを活用したCT室における安全文化醸成の取り組み

眞野 陽貴 ほか

公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター

P-24-3 MRI金属持ち込み・造影剤血管外漏出ゼロを目指して
～百聞は一見に如かず！院内全看護師を対象とした「体験型」放射線科医療安全ツアーの取り組み～

計良 幸子 ほか

聖路加国際病院 放射線科 看護師

P-24-4 当院の報告書確認対策チームの活動状況

高本 真弥 ほか

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 医療安全管理部門

P-24-5 ベースメーカー患者のMRI検査事故防止に向けた多職種連携の取り組み田村 尚三 ほか
赤穂中央病院**P-24-6 画像診断報告書の確認体制強化による重要所見見落とし防止の実践（第1報）**佐々木 琢也 ほか
横浜市立大学附属病院 医療安全管理部**P-24-7 当院での医療放射線安全管理室設立から5年間の取り組み**塚本 友紀子 ほか
順天堂大学医学部附属順天堂医院 看護部**17:10~18:00 一般演題（ポスター）25 活動報告**
労働安全

座長：甲斐 由紀子（宮崎大学 名誉教授）

P-25-1 看護師の夜勤始業前業務の低減に向けた取り組み津國 幸恵 ほか
独立行政法人東京都立病院機構 多摩南部地域病院 看護部**P-25-2 職業性腰痛の通減を目指したノーリフトケア文化醸成への取り組み**須崎 有信 ほか
社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院**P-25-3 深夜帯における安全な与薬業務への取り組み ―配薬業務に専念できる早出導入を試みてー**山崎 直子 ほか
黒部市民病院**P-25-4 A校異動時のオンボーディングの現状と課題**坂本 佳代子 ほか
姫路赤十字看護専門学校**P-25-5 看護学実習に携わる看護師を対象とした学生のインシデント事例のRCAを用いた医療安全教育**犬飼 智子 ほか
川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科**P-25-6 岡山県看護協会 医療・看護安全対策委員会による「KYT出前講座」の取り組み**直原 加佳 ほか
岡山県看護協会 医療・看護安全対策委員会／社会医療法人光生病院 医療安全管理室**P-25-7 当院における職場ハラスメント対策の取り組み**窪田 裕樹 ほか
JA愛知厚生連海南病院**17:10~18:00 一般演題（ポスター）26 活動報告**

座長：豊田 郁子（イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院）

身体的拘束・人権**P-26-1 A病院における高齢者サポートチームの身体的拘束最小化に向けた取り組み**山下 孝将 ほか
公立八女総合病院**P-26-2 身体拘束最小化チームの取り組みと今後の課題**岡田 直子 ほか
鈴鹿回生病院 医療安全管理課

- P-26-3 肢体不自由児病棟における行動制限最小化に向けて**
山出 あゆみ
三重県立子ども心身発達医療センター
- P-26-4 身体拘束中に転倒した患者への転倒転落対策の実態**
坂本 千尋 ほか
東北大学病院 医療安全推進室
- P-26-5 群馬大学医学部附属病院における身体的拘束最小化に向けた体制の再構築**
大谷 忠広 ほか
群馬大学医学部附属病院 看護部
- P-26-6 身体的拘束患者の「食べる」を守りたい
—経鼻カテーテル早期抜去のための摂食嚥下障害看護認定看護師の取り組み—**
栗田 奈々子 ほか
医療法人徳洲会福岡徳洲会病院 看護部
- P-26-7 循環器専門病院における身体拘束最小化に向けた取り組み**
斉藤 真佐美 ほか
医療法人邦友会 小田原循環器病院

17:10～18:00 **一般演題（ポスター）27** 活動報告 座長：長島 久（医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院）
紛争対応・事故防止

- P-27-1 カスタマーハラスメント対応の教育と実践 —1年間の活動からみえてきた課題—**
平井 理心 ほか
筑波大学附属病院 医療安全管理部／筑波大学附属病院 医療支援課
- P-27-2 患者安全を守るための無断離院対策 ～改訂フローチャートの効果と課題～**
松山 尚子 ほか
札幌東徳洲会病院
- P-27-3 大学病院における医療紛争対応と実践報告**
谷本 舞 ほか
金沢大学附属病院 経営企画部
- P-27-4 患者からの相談（苦情）に対して、医療メディエーター、社会保険労務士として対応することで、より多く解決に繋がった**
長尾 宗位
香川県立中央病院
- P-27-5 重大事象後の医療安全管理者の関与の考察② ～長期的な関りから離職予防へ～**
深澤 美由記 ほか
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院
- P-27-6 入院時重症患者対応メディエーター体制立ち上げの取り組み**
秋山 千鶴 ほか
国立国際医療研究センター HCU病棟
- P-27-7 患者・家族から職員に向けた暴言・暴力の危険から身を守る取り組み**
永田 千佳 ほか
千鳥橋病院 クオリティマネジメントセンター